

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) －トリプルリターンズ－

日本円・コース (毎月分配型)  
豪ドル・コース (毎月分配型)  
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)  
米ドル・コース (毎月分配型)  
通貨セレクト・コース (毎月分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	日本円・コース (毎月分配型) 豪ドル・コース (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 米ドル・コース (毎月分配型)	2011年9月22日～2026年9月7日
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	2013年5月31日～2026年9月7日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」の受益証券 (円建) ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。通貨セレクト・コースは、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

## 運用報告書 (全体版)

日本円・コース (毎月分配型)	第132期 (決算日 2022年10月7日)
豪ドル・コース (毎月分配型)	第133期 (決算日 2022年11月7日)
ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	第134期 (決算日 2022年12月7日)
米ドル・コース (毎月分配型)	第135期 (決算日 2023年1月10日)
	第136期 (決算日 2023年2月7日)
	第137期 (決算日 2023年3月7日)
通貨セレクト・コース (毎月分配型)	第112期 (決算日 2022年10月7日)
	第113期 (決算日 2022年11月7日)
	第114期 (決算日 2022年12月7日)
	第115期 (決算日 2023年1月10日)
	第116期 (決算日 2023年2月7日)
	第117期 (決算日 2023年3月7日)

(作成対象期間 2022年9月8日～2023年3月7日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3834>  
<3835>  
<3836>  
<3837>  
<5763>

日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落) 円	税込み 分配金 円	期中 騰落率 %	(参考指数) 期中 騰落率 %	期中 騰落率 %			
108期末 (2020年10月7日)	5,525	35	0.3	34,752	△ 1.8	—	98.0	315
109期末 (2020年11月9日)	5,564	35	1.3	36,331	4.5	—	98.7	317
110期末 (2020年12月7日)	5,888	35	6.5	38,362	5.6	—	98.0	333
111期末 (2021年1月7日)	5,943	35	1.5	38,913	1.4	—	99.1	335
112期末 (2021年2月8日)	6,035	35	2.1	40,396	3.8	—	98.0	335
113期末 (2021年3月8日)	6,064	35	1.1	39,991	△ 1.0	—	98.5	338
114期末 (2021年4月7日)	6,403	35	6.2	42,456	6.2	—	99.6	355
115期末 (2021年5月7日)	6,506	35	2.2	43,825	3.2	—	98.6	351
116期末 (2021年6月7日)	6,491	35	0.3	44,192	0.8	—	98.5	346
117期末 (2021年7月7日)	6,503	35	0.7	45,426	2.8	—	99.0	347
118期末 (2021年8月10日)	6,563	35	1.5	46,403	2.1	—	98.0	345
119期末 (2021年9月7日)	6,654	35	1.9	47,546	2.5	—	99.0	349
120期末 (2021年10月7日)	6,281	35	△ 5.1	45,792	△ 3.7	—	98.1	322
121期末 (2021年11月8日)	6,467	35	3.5	49,342	7.8	—	98.6	332
122期末 (2021年12月7日)	6,380	35	△ 0.8	48,302	△ 2.1	—	99.2	328
123期末 (2022年1月7日)	6,735	35	6.1	49,452	2.4	—	99.5	347
124期末 (2022年2月7日)	6,556	35	△ 2.1	47,435	△ 4.1	—	97.4	339
125期末 (2022年3月7日)	6,580	35	0.9	45,694	△ 3.7	—	99.4	339
126期末 (2022年4月7日)	6,773	35	3.5	47,360	3.6	—	98.4	334
127期末 (2022年5月9日)	6,592	35	△ 2.2	43,619	△ 7.9	—	99.1	323
128期末 (2022年6月7日)	6,589	35	0.5	43,679	0.1	—	96.6	323
129期末 (2022年7月7日)	5,766	35	△ 12.0	40,806	△ 6.6	—	99.0	281
130期末 (2022年8月8日)	6,135	35	7.0	44,036	7.9	—	99.1	300
131期末 (2022年9月7日)	5,911	35	△ 3.1	41,593	△ 5.5	—	97.4	288
132期末 (2022年10月7日)	5,923	35	0.8	39,914	△ 4.0	—	97.6	286
133期末 (2022年11月7日)	6,078	35	3.2	40,228	0.8	—	99.3	294
134期末 (2022年12月7日)	6,293	35	4.1	42,132	4.7	—	97.4	303
135期末 (2023年1月10日)	6,386	35	2.0	41,673	△ 1.1	—	99.0	308
136期末 (2023年2月7日)	6,539	35	2.9	44,050	5.7	—	99.5	316
137期末 (2023年3月7日)	6,462	35	△ 0.6	43,462	△ 1.3	—	99.2	311

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) は、S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

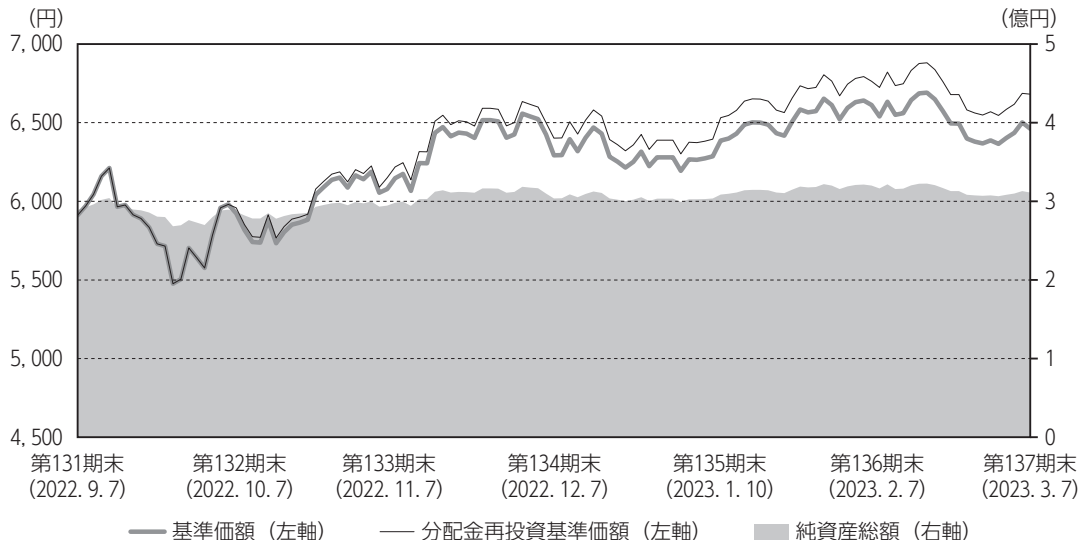
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

※参考指数を「S & P 500指数 (米ドルベース)」から「S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)」に変更しました。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第132期首：5,911円

第137期末：6,462円 (既払分配金210円)

騰落率：13.0% (分配金再投資ベース)

#### 基準価額の主な変動要因

投資したクロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) については、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となった一方、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)：オージェンタム・トラスト  
クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) (参考指数)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	騰 落 率 %	騰 落 率 %		
第132期	(期首) 2022年 9月 7日	5,911	—	41,593	—	—	97.4
	9月末	5,641	△ 4.6	38,785	△ 6.7	—	99.5
	(期末) 2022年10月 7日	5,958	0.8	39,914	△ 4.0	—	97.6
第133期	(期首) 2022年10月 7日	5,923	—	39,914	—	—	97.6
	10月末	6,165	4.1	41,604	4.2	—	98.6
	(期末) 2022年11月 7日	6,113	3.2	40,228	0.8	—	99.3
第134期	(期首) 2022年11月 7日	6,078	—	40,228	—	—	99.3
	11月末	6,425	5.7	42,284	5.1	—	99.2
	(期末) 2022年12月 7日	6,328	4.1	42,132	4.7	—	97.4
第135期	(期首) 2022年12月 7日	6,293	—	42,132	—	—	97.4
	12月末	6,267	△ 0.4	41,194	△ 2.2	—	98.4
	(期末) 2023年 1月10日	6,421	2.0	41,673	△ 1.1	—	99.0
第136期	(期首) 2023年 1月10日	6,386	—	41,673	—	—	99.0
	2023年 1月末	6,522	2.1	43,042	3.3	—	98.9
	(期末) 2023年 2月 7日	6,574	2.9	44,050	5.7	—	99.5
第137期	(期首) 2023年 2月 7日	6,539	—	44,050	—	—	99.5
	2月末	6,388	△ 2.3	42,733	△ 3.0	—	98.6
	(期末) 2023年 3月 7日	6,497	△ 0.6	43,462	△ 1.3	—	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2022. 9. 8 ~ 2023. 3. 7)

### 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、2022年10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、2月以降は予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことなどから、当作成期末にかけて株価は下落しました。

### 短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の枠組みを継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国の短期金利は、政策金利であるF Fレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標が4.50~4.75%に引き上げられました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### 当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2022. 9. 8 ~ 2023. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (日本円・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

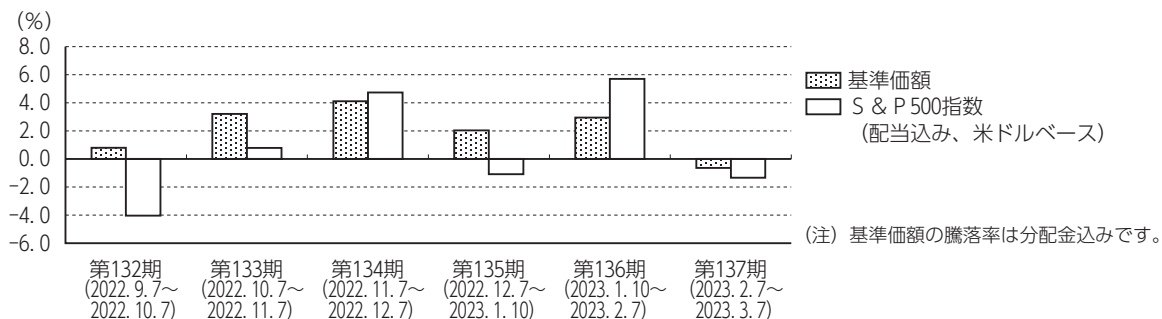
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性及び資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2022年9月8日 ～2022年10月7日	2022年10月8日 ～2022年11月7日	2022年11月8日 ～2022年12月7日	2022年12月8日 ～2023年1月10日	2023年1月11日 ～2023年2月7日	2023年2月8日 ～2023年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	35	35	35	35	35	35
対基準価額比率 (%)	0.59	0.57	0.55	0.55	0.53	0.54
当期の収益 (円)	35	35	35	35	26	26
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	8	8
翌期繰越分配対象額 (円)	593	596	599	601	592	584

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 44.24円	✓ 38.14円	✓ 38.13円	✓ 36.79円	✓ 26.40円	✓ 26.27円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	234.47	235.06	236.47	237.15	237.81	238.44
(d) 分配準備積立金	349.53	358.19	359.99	362.46	✓ 363.60	✓ 354.37
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	628.25	631.40	634.61	636.41	627.81	619.09
(f) 分配金	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	593.25	596.40	599.61	601.41	592.81	584.09

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	第132期～第137期 (2022. 9. 8～2023. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	42円	0.666%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,259円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.436)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	42	0.670	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

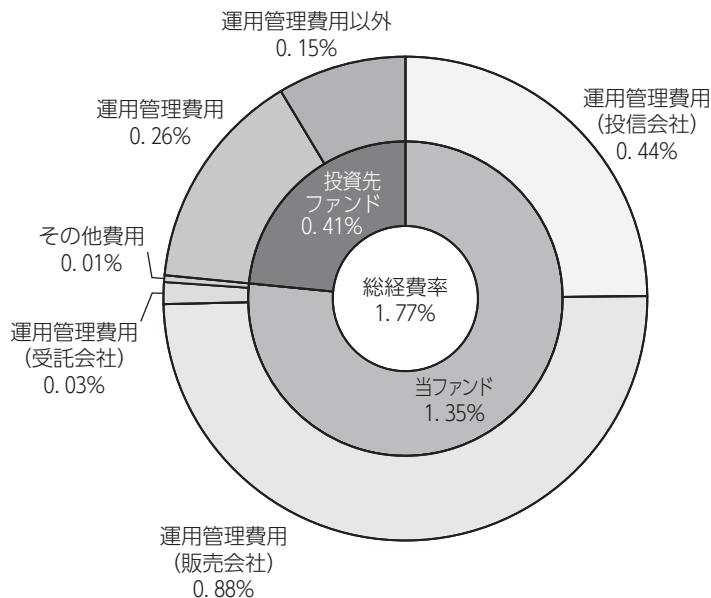
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.77%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、投資先ファンドの費用には、支払利息、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2022年9月8日から2023年3月7日まで)

決算期	第 132 期 ~ 第 137 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 321.18013	千円 23,793	千口 322.8097	千円 24,300

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2022年9月8日から2023年3月7日まで)

第 132 期 ~					第 137 期			
銘 柄	買 付			売 付				
	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 171.11381	千円 12,700	円 74	CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 322.8097	千円 24,300	円 75	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 137 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND JPY CLASS	千口 3,982.77301	千円 308,680	% 99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第131期末	第 137 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 132	千口 132	千円 134

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年3月7日現在

項 目	第 137 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 308,680	% 98.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	134	0.0
コール・ローン等、その他	4,337	1.4
投資信託財産総額	313,153	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年10月7日)、(2022年11月7日)、(2022年12月7日)、(2023年1月10日)、(2023年2月7日)、(2023年3月7日)現在

項目	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末
<b>(A) 資産</b>	<b>288,685,417円</b>	<b>296,454,894円</b>	<b>307,839,601円</b>	<b>310,605,172円</b>	<b>318,438,956円</b>	<b>313,153,077円</b>
コール・ローン等	8,732,518	4,054,026	12,094,770	5,087,967	3,537,931	4,337,318
投資信託受益証券 (評価額)	279,817,952	292,265,934	295,609,897	305,382,285	314,766,105	308,680,839
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	134,947	134,934	134,934	134,920	134,920	134,920
<b>(B) 負債</b>	<b>2,070,430</b>	<b>2,030,427</b>	<b>4,328,216</b>	<b>2,080,722</b>	<b>2,030,897</b>	<b>2,021,521</b>
未払収益分配金	1,693,719	1,695,471	1,687,963	1,690,824	1,693,684	1,685,258
未払解約金	58,947	—	2,290,628	—	116	—
未払信託報酬	315,844	331,026	343,607	381,565	326,778	323,975
その他未払費用	1,920	3,930	6,018	8,333	10,319	12,288
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>286,614,987</b>	<b>294,424,467</b>	<b>303,511,385</b>	<b>308,524,450</b>	<b>316,408,059</b>	<b>311,131,556</b>
元本	483,919,966	484,420,458	482,275,304	483,092,703	483,909,867	481,502,325
次期繰越損益金	△ 197,304,979	△ 189,995,991	△ 178,763,919	△ 174,568,253	△ 167,501,808	△ 170,370,769
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>483,919,966口</b>	<b>484,420,458口</b>	<b>482,275,304口</b>	<b>483,092,703口</b>	<b>483,909,867口</b>	<b>481,502,325口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	<b>5,923円</b>	<b>6,078円</b>	<b>6,293円</b>	<b>6,386円</b>	<b>6,539円</b>	<b>6,462円</b>

\* 当作成期首における元本額は488,849,601円、当作成期間 (第132期~第137期) 中における追加設定元本額は6,376,079円、同解約元本額は13,723,355円です。

\* 第137期末の計算口数当りの純資産額は6,462円です。

\* 第137期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は170,370,769円です。

■損益の状況

第132期 自 2022年9月8日 至 2022年10月7日    第134期 自 2022年11月8日 至 2022年12月7日    第136期 自 2023年1月11日 至 2023年2月7日  
 第133期 自 2022年10月8日 至 2022年11月7日    第135期 自 2022年12月8日 至 2023年1月10日    第137期 自 2023年2月8日 至 2023年3月7日

項目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>2,440,678円</b>	<b>1,914,587円</b>	<b>1,892,061円</b>	<b>1,887,663円</b>	<b>1,324,148円</b>	<b>1,591,148円</b>
受取配当金	2,440,877	1,914,761	1,892,205	1,887,916	1,324,183	1,591,215
受取利息	—	—	—	—	—	1
支払利息	△ 199	△ 174	△ 144	△ 253	△ 35	△ 68
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>149,919</b>	<b>7,626,945</b>	<b>10,493,899</b>	<b>4,684,982</b>	<b>8,059,281</b>	<b>△ 3,281,803</b>
売買益	351,324	7,632,205	10,639,545	4,684,762	8,059,638	125,874
売買損	△ 201,405	△ 5,260	△ 145,646	△ 220	△ 357	△ 3,407,677
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 317,764</b>	<b>△ 333,036</b>	<b>△ 345,695</b>	<b>△ 383,880</b>	<b>△ 328,764</b>	<b>△ 325,944</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>2,272,833</b>	<b>9,208,496</b>	<b>12,400,265</b>	<b>6,188,765</b>	<b>9,054,665</b>	<b>△ 2,016,599</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 79,273,154</b>	<b>△ 79,095,614</b>	<b>△ 71,001,441</b>	<b>△ 60,639,708</b>	<b>△ 56,135,877</b>	<b>△ 48,445,483</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 118,160,939</b>	<b>△ 118,413,402</b>	<b>△ 118,114,780</b>	<b>△ 118,426,486</b>	<b>△ 118,726,912</b>	<b>△ 118,223,429</b>
(配当等相当額)	( 11,346,690)	( 11,387,019)	( 11,404,839)	( 11,456,888)	( 11,507,946)	( 11,481,400)
(売買損益相当額)	(△ 129,507,629)	(△ 129,800,421)	(△ 129,519,619)	(△ 129,883,374)	(△ 130,234,858)	(△ 129,704,829)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 195,611,260</b>	<b>△ 188,300,520</b>	<b>△ 177,075,956</b>	<b>△ 172,877,429</b>	<b>△ 165,808,124</b>	<b>△ 168,685,511</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 1,693,719</b>	<b>△ 1,695,471</b>	<b>△ 1,687,963</b>	<b>△ 1,690,824</b>	<b>△ 1,693,684</b>	<b>△ 1,685,258</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 197,304,979	△ 189,995,991	△ 178,763,919	△ 174,568,253	△ 167,501,808	△ 170,370,769
追加信託差損益金	△ 118,160,939	△ 118,413,402	△ 118,114,780	△ 118,426,486	△ 118,726,912	△ 118,223,429
(配当等相当額)	( 11,346,690)	( 11,387,019)	( 11,404,839)	( 11,456,888)	( 11,507,946)	( 11,481,400)
(売買損益相当額)	(△ 129,507,629)	(△ 129,800,421)	(△ 129,519,619)	(△ 129,883,374)	(△ 130,234,858)	(△ 129,704,829)
分配準備積立金	17,362,263	17,503,914	17,513,078	17,596,940	17,179,169	16,643,092
繰越損益金	△ 96,506,303	△ 89,086,503	△ 78,162,217	△ 73,738,707	△ 65,954,065	△ 68,790,432

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,141,311円	1,847,746円	1,839,235円	1,777,409円	1,277,759円	1,265,204円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	11,346,690	11,387,019	11,404,839	11,456,888	11,507,946	11,481,400
(d) 分配準備積立金	16,914,671	17,351,639	17,361,806	17,510,355	17,595,094	17,063,146
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	30,402,672	30,586,404	30,605,880	30,744,652	30,380,799	29,809,750
(f) 分配金	1,693,719	1,695,471	1,687,963	1,690,824	1,693,684	1,685,258
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	28,708,953	28,890,933	28,917,917	29,053,828	28,687,115	28,124,492
(h) 受益権総口数	483,919,966口	484,420,458口	482,275,304口	483,092,703口	483,909,867口	481,502,325口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
		35円	35円	35円	35円	35円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数 (配当込み) は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 ([SPDJ]) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 ([S & P]) の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC ([Dow Jones]) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数 (配当込み) のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落) 円	税込み 分配金 円	期中 騰落率 %	(参考指数) 円	期中 騰落率 %	(参考指数) 円	期中 騰落率 %			
108期末 (2020年10月7日)	3,279	30	△ 1.4	34,752	△ 1.8	75.06	△ 3.1	—	99.1	1,194
109期末 (2020年11月9日)	3,271	30	0.7	36,331	4.5	75.15	0.1	—	99.1	1,150
110期末 (2020年12月7日)	3,551	30	9.5	38,362	5.6	77.33	2.9	—	99.2	1,235
111期末 (2021年1月7日)	3,697	20	4.7	38,913	1.4	80.27	3.8	—	99.0	1,213
112期末 (2021年2月8日)	3,763	20	2.3	40,396	3.8	80.95	0.8	—	98.9	1,200
113期末 (2021年3月8日)	3,874	20	3.5	39,991	△ 1.0	83.57	3.2	—	99.4	1,188
114期末 (2021年4月7日)	4,115	20	6.7	42,456	6.2	84.17	0.7	—	98.0	1,220
115期末 (2021年5月7日)	4,206	20	2.7	43,825	3.2	84.90	0.9	—	98.8	1,220
116期末 (2021年6月7日)	4,193	20	0.2	44,192	0.8	84.77	△ 0.2	—	98.1	1,186
117期末 (2021年7月7日)	4,109	20	△ 1.5	45,426	2.8	82.73	△ 2.4	—	99.7	1,122
118期末 (2021年8月10日)	4,055	20	△ 0.8	46,403	2.1	80.93	△ 2.2	—	98.0	1,091
119期末 (2021年9月7日)	4,135	20	2.5	47,546	2.5	81.80	1.1	—	98.9	1,088
120期末 (2021年10月7日)	3,874	20	△ 5.8	45,792	△ 3.7	81.15	△ 0.8	—	98.8	976
121期末 (2021年11月8日)	4,134	20	7.2	49,342	7.8	84.00	3.5	—	99.6	1,018
122期末 (2021年12月7日)	3,881	20	△ 5.6	48,302	△ 2.1	79.95	△ 4.8	—	99.6	943
123期末 (2022年1月7日)	4,218	20	9.2	49,452	2.4	83.08	3.9	—	98.1	1,006
124期末 (2022年2月7日)	4,043	20	△ 3.7	47,435	△ 4.1	81.50	△ 1.9	—	97.8	949
125期末 (2022年3月7日)	4,207	20	4.6	45,694	△ 3.7	85.01	4.3	—	99.1	981
126期末 (2022年4月7日)	4,709	20	12.4	47,360	3.6	92.82	9.2	—	97.5	1,064
127期末 (2022年5月9日)	4,518	20	△ 3.6	43,619	△ 7.9	91.70	△ 1.2	—	98.6	1,003
128期末 (2022年6月7日)	4,608	20	2.4	43,679	0.1	94.96	3.6	—	97.6	1,013
129期末 (2022年7月7日)	3,922	20	△ 14.5	40,806	△ 6.6	92.19	△ 2.9	—	97.4	845
130期末 (2022年8月8日)	4,250	20	8.9	44,036	7.9	93.51	1.4	—	98.0	902
131期末 (2022年9月7日)	4,227	20	△ 0.1	41,593	△ 5.5	96.09	2.8	—	97.5	883
132期末 (2022年10月7日)	4,110	20	△ 2.3	39,914	△ 4.0	93.02	△ 3.2	—	97.8	850
133期末 (2022年11月7日)	4,298	20	5.1	40,228	0.8	94.61	1.7	—	97.5	874
134期末 (2022年12月7日)	4,321	20	1.0	42,132	4.7	91.93	△ 2.8	—	98.7	848
135期末 (2023年1月10日)	4,354	20	1.2	41,673	△ 1.1	91.10	△ 0.9	—	99.2	843
136期末 (2023年2月7日)	4,501	20	3.8	44,050	5.7	91.39	0.3	—	97.5	869
137期末 (2023年3月7日)	4,484	20	0.1	43,462	△ 1.3	91.64	0.3	—	98.3	863

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) は、S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

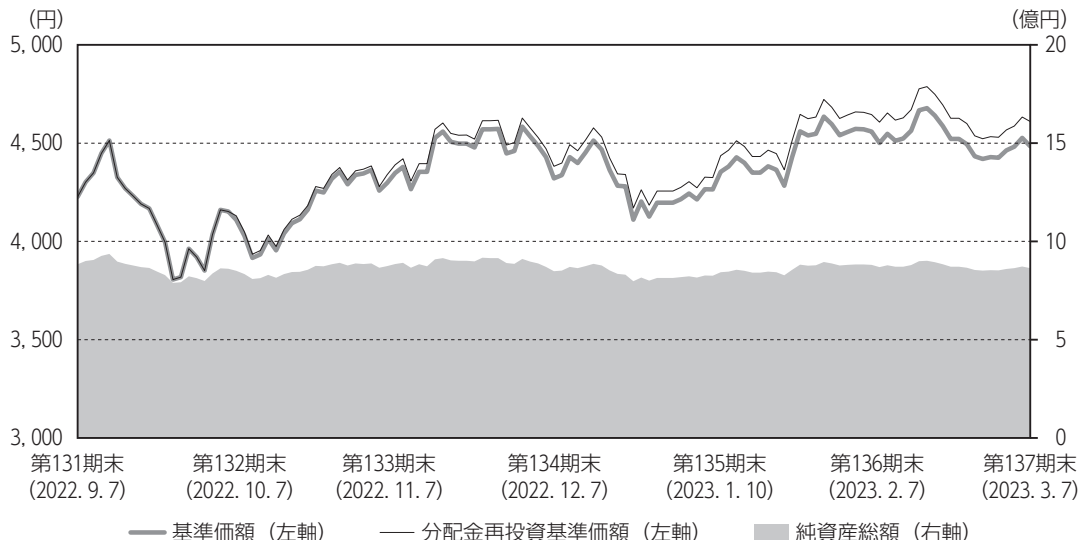
(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

※参考指数の「S & P 500指数 (米ドルベース)」を「S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)」に変更しました。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第132期首：4,227円

第137期末：4,484円（既払分配金120円）

騰落率：9.0%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

投資したクロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）については、米国株式市況が上昇したことはプラス要因となったものの、オプション取引戦略や豪ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）：オージェンタム・トラスト  
 ロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第132期	(期首) 2022年 9月 7日	4,227	—	41,593	—	96.09	—	—	97.5
	9月末	3,920	△ 7.3	38,785	△ 6.7	94.17	△ 2.0	—	99.3
	(期末) 2022年10月 7日	4,130	△ 2.3	39,914	△ 4.0	93.02	△ 3.2	—	97.8
第133期	(期首) 2022年10月 7日	4,110	—	39,914	—	93.02	—	—	97.8
	10月末	4,338	5.5	41,604	4.2	95.05	2.2	—	99.1
	(期末) 2022年11月 7日	4,318	5.1	40,228	0.8	94.61	1.7	—	97.5
第134期	(期首) 2022年11月 7日	4,298	—	40,228	—	94.61	—	—	97.5
	11月末	4,460	3.8	42,284	5.1	92.79	△ 1.9	—	99.6
	(期末) 2022年12月 7日	4,341	1.0	42,132	4.7	91.93	△ 2.8	—	98.7
第135期	(期首) 2022年12月 7日	4,321	—	42,132	—	91.93	—	—	98.7
	12月末	4,244	△ 1.8	41,194	△ 2.2	89.57	△ 2.6	—	98.7
	(期末) 2023年 1月10日	4,374	1.2	41,673	△ 1.1	91.10	△ 0.9	—	99.2
第136期	(期首) 2023年 1月10日	4,354	—	41,673	—	91.10	—	—	99.2
	2023年 1月末	4,540	4.3	43,042	3.3	91.93	0.9	—	99.6
	(期末) 2023年 2月 7日	4,521	3.8	44,050	5.7	91.39	0.3	—	97.5
第137期	(期首) 2023年 2月 7日	4,501	—	44,050	—	91.39	—	—	97.5
	2月末	4,429	△ 1.6	42,733	△ 3.0	91.90	0.6	—	97.8
	(期末) 2023年 3月 7日	4,504	0.1	43,462	△ 1.3	91.64	0.3	—	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

（2022. 9. 8 ～ 2023. 3. 7）

### ■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、2022年10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、2月以降は予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことなどから、当作成期末にかけて株価は下落しました。

### ■為替相場

豪ドルは対円で下落しました。

各国の金融引き締めや景気減速に対する懸念から投資家心理が悪化したことなどを背景に、豪ドル円為替相場は下落しました。また、政府・日銀による円買い介入や、日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）において長期金利の変動許容幅を拡大したことも、円高要因となりました。

### ■短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、R B A（オーストラリア準備銀行）が政策金利を3.35%に引き上げました。一方、米国の短期金利は、政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標が4.50～4.75%に引き上げられました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2022. 9. 8 ~ 2023. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行いました。

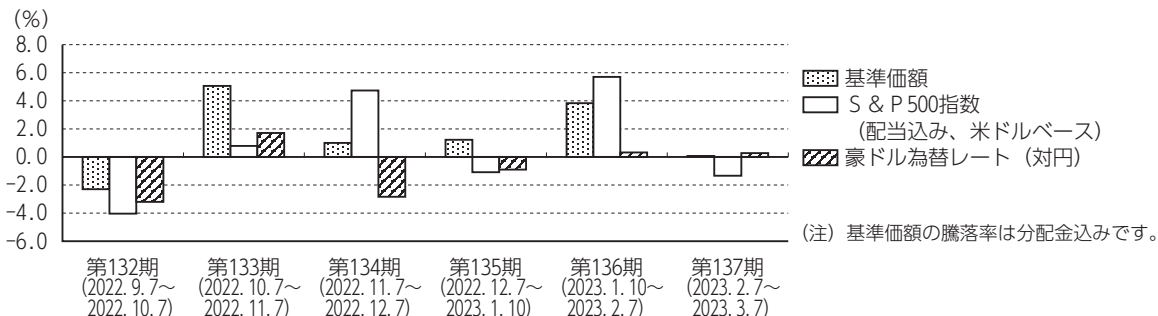
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2022年9月8日 ～2022年10月7日	2022年10月8日 ～2022年11月7日	2022年11月8日 ～2022年12月7日	2022年12月8日 ～2023年1月10日	2023年1月11日 ～2023年2月7日	2023年2月8日 ～2023年3月7日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>
対基準価額比率 (%)	0.48	0.46	0.46	0.46	0.44	0.44
当期の収益 (円)	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	470	487	500	514	525	533

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率は異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 37.22円	✓ 36.99円	✓ 32.50円	✓ 34.18円	✓ 30.52円	✓ 27.79円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	199.09	199.32	199.70	199.95	200.20	200.43
(d) 分配準備積立金	254.64	271.64	288.27	300.53	314.48	324.77
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	490.96	507.96	520.49	534.68	545.20	553.00
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	470.96	487.96	500.49	514.68	525.20	533.00

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第132期～第137期 (2022. 9. 8～2023. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	29円	0.666%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,344円です。
(投 信 会 社)	(9)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	29	0.669	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

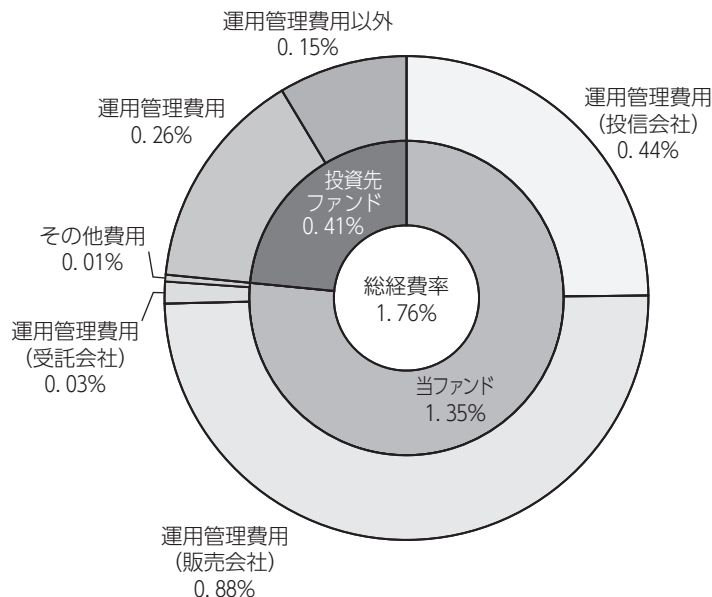
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、投資先ファンドの費用には、支払利息、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2022年9月8日から2023年3月7日まで)

決算期	第 132 期 ～ 第 137 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 991.14405	千円 78,109	千口 1,614.28715	千円 128,400

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2022年9月8日から2023年3月7日まで)

第 132 期				～	第 137 期				
買 付		売 付							
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		
CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 439.13623	千円 34,700	円 79	CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,614.28715	千円 128,400	円 79		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 137 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND AUD CLASS	千口 10,479.92806	千円 848,968	% 98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第131期末	第 137 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 52	千口 52	千円 53

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年3月7日現在

項 目	第 137 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 848,968	% 97.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	53	0.0
コール・ローン等、その他	19,808	2.3
投資信託財産総額	868,830	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年10月7日)、(2022年11月7日)、(2022年12月7日)、(2023年1月10日)、(2023年2月7日)、(2023年3月7日)現在

項目	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末
<b>(A) 資産</b>	<b>857,524,449円</b>	<b>879,806,104円</b>	<b>860,310,491円</b>	<b>848,176,819円</b>	<b>874,035,900円</b>	<b>868,830,636円</b>
コール・ローン等	25,212,834	26,956,339	22,661,949	11,269,928	26,501,556	19,808,294
投資信託受益証券（評価額）	832,257,754	852,795,910	837,594,687	836,853,041	847,480,494	848,968,492
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	53,861	53,855	53,855	53,850	53,850	53,850
<b>(B) 負債</b>	<b>6,859,420</b>	<b>5,192,123</b>	<b>11,623,146</b>	<b>4,944,671</b>	<b>4,875,395</b>	<b>4,891,047</b>
未払収益分配金	4,139,817	4,069,708	3,928,564	3,873,196	3,862,053	3,853,365
未払解約金	1,760,900	130,285	6,684,103	—	90,720	102,523
未払信託報酬	952,884	980,325	992,615	1,047,220	892,911	899,950
その他未払費用	5,819	11,805	17,864	24,255	29,711	35,209
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>850,665,029</b>	<b>874,613,981</b>	<b>848,687,345</b>	<b>843,232,148</b>	<b>869,160,505</b>	<b>863,939,589</b>
元本	2,069,908,637	2,034,854,317	1,964,282,235	1,936,598,244	1,931,026,803	1,926,682,550
次期繰越損益金	△ 1,219,243,608	△ 1,160,240,336	△ 1,115,594,890	△ 1,093,366,096	△ 1,061,866,298	△ 1,062,742,961
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,069,908,637口</b>	<b>2,034,854,317口</b>	<b>1,964,282,235口</b>	<b>1,936,598,244口</b>	<b>1,931,026,803口</b>	<b>1,926,682,550口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	4,110円	4,298円	4,321円	4,354円	4,501円	4,484円

\* 当作成期首における元本額は2,091,091,278円、当作成期間（第132期～第137期）中における追加設定元本額は10,213,018円、同解約元本額は174,621,746円です。

\* 第137期末の計算口数当りの純資産額は4,484円です。

\* 第137期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,062,742,961円です。

■損益の状況

第132期 自 2022年9月8日 至 2022年10月7日 第134期 自 2022年11月8日 至 2022年12月7日 第136期 自 2023年1月11日 至 2023年2月7日  
 第133期 自 2022年10月8日 至 2022年11月7日 第135期 自 2022年12月8日 至 2023年1月10日 第137期 自 2023年2月8日 至 2023年3月7日

項目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>8,664,586円</b>	<b>7,702,585円</b>	<b>7,152,919円</b>	<b>7,292,592円</b>	<b>6,058,212円</b>	<b>6,260,573円</b>
受取配当金	8,664,939	7,703,146	7,153,778	7,293,238	6,058,271	6,260,855
受取利息	—	1	1	2	—	5
支払利息	△ 353	△ 562	△ 860	△ 648	△ 59	△ 287
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 27,846,748</b>	<b>35,708,099</b>	<b>2,153,390</b>	<b>4,141,828</b>	<b>27,048,815</b>	<b>△ 4,767,499</b>
売買益	58,711	35,947,782	2,906,872	4,600,319	27,064,224	1,507
売買損	△ 27,905,459	△ 239,683	△ 753,482	△ 458,491	△ 15,409	△ 4,769,006
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 958,703</b>	<b>△ 986,311</b>	<b>△ 998,674</b>	<b>△ 1,053,611</b>	<b>△ 898,367</b>	<b>△ 905,448</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>△ 20,140,865</b>	<b>42,424,373</b>	<b>8,307,635</b>	<b>10,380,809</b>	<b>32,208,660</b>	<b>587,626</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 606,395,176</b>	<b>△ 619,483,448</b>	<b>△ 560,269,725</b>	<b>△ 547,613,539</b>	<b>△ 539,138,288</b>	<b>△ 509,279,259</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 588,567,750</b>	<b>△ 579,111,553</b>	<b>△ 559,704,236</b>	<b>△ 552,260,170</b>	<b>△ 551,074,617</b>	<b>△ 550,197,963</b>
（配当等相当額）	（ 41,211,097）	（ 40,559,425）	（ 39,228,461）	（ 38,723,473）	（ 38,659,450）	（ 38,617,808）
（売買損益相当額）	（△ 629,778,847）	（△ 619,670,978）	（△ 598,932,697）	（△ 590,983,643）	（△ 589,734,067）	（△ 588,815,771）
<b>(G) 合計（D＋E＋F）</b>	<b>△ 1,215,103,791</b>	<b>△ 1,156,170,628</b>	<b>△ 1,111,666,326</b>	<b>△ 1,089,492,900</b>	<b>△ 1,058,004,245</b>	<b>△ 1,058,889,596</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 4,139,817</b>	<b>△ 4,069,708</b>	<b>△ 3,928,564</b>	<b>△ 3,873,196</b>	<b>△ 3,862,053</b>	<b>△ 3,853,365</b>
次期繰越損益金（G＋H）	△ 1,219,243,608	△ 1,160,240,336	△ 1,115,594,890	△ 1,093,366,096	△ 1,061,866,298	△ 1,062,742,961
追加信託差損益金	△ 588,567,750	△ 579,111,553	△ 559,704,236	△ 552,260,170	△ 551,074,617	△ 550,197,963
（配当等相当額）	（ 41,211,097）	（ 40,559,425）	（ 39,228,461）	（ 38,723,473）	（ 38,659,450）	（ 38,617,808）
（売買損益相当額）	（△ 629,778,847）	（△ 619,670,978）	（△ 598,932,697）	（△ 590,983,643）	（△ 589,734,067）	（△ 588,815,771）
分配準備積立金	56,274,238	58,733,461	59,082,055	60,949,736	62,759,860	64,075,792
繰越損益金	△ 686,950,096	△ 639,862,244	△ 614,972,709	△ 602,055,662	△ 573,551,541	△ 576,620,790

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。



■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,705,883円	7,527,613円	6,385,338円	6,620,599円	5,893,811円	5,355,125円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	41,211,097	40,559,425	39,228,461	38,723,473	38,659,450	38,617,808
(d) 分配準備積立金	52,708,172	55,275,556	56,625,281	58,202,333	60,728,102	62,574,032
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	101,625,152	103,362,594	102,239,080	103,546,405	105,281,363	106,546,965
(f) 分配金	4,139,817	4,069,708	3,928,564	3,873,196	3,862,053	3,853,365
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	97,485,335	99,292,886	98,310,516	99,673,209	101,419,310	102,693,600
(h) 受益権総口数	2,069,908,637口	2,034,854,317口	1,964,282,235口	1,936,598,244口	1,931,026,803口	1,926,682,550口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
		20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数（配当込み）はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数（配当込み）のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
108期末 (2020年10月7日)	1,438	20	△ 4.0	34,752	△ 1.8	18.89	△ 5.8	—	98.3	15,641
109期末 (2020年11月9日)	1,406	20	△ 0.8	36,331	4.5	19.22	1.7	—	98.2	15,071
110期末 (2020年12月7日)	1,578	20	13.7	38,362	5.6	20.29	5.6	—	98.2	16,680
111期末 (2021年1月7日)	1,526	20	△ 2.0	38,913	1.4	19.42	△ 4.3	—	98.1	15,604
112期末 (2021年2月8日)	1,563	20	3.7	40,396	3.8	19.62	1.0	—	98.1	15,815
113期末 (2021年3月8日)	1,510	20	△ 2.1	39,991	△ 1.0	19.06	△ 2.9	—	98.1	15,101
114期末 (2021年4月7日)	1,626	20	9.0	42,456	6.2	19.6377	3.0	—	94.7	16,094
115期末 (2021年5月7日)	1,739	20	8.2	43,825	3.2	20.6658	5.2	—	98.2	16,396
116期末 (2021年6月7日)	1,797	20	4.5	44,192	0.8	21.6965	5.0	—	98.3	16,648
117期末 (2021年7月7日)	1,766	20	△ 0.6	45,426	2.8	21.2416	△ 2.1	—	98.0	16,134
118期末 (2021年8月10日)	1,755	20	0.5	46,403	2.1	21.0762	△ 0.8	—	98.2	15,804
119期末 (2021年9月7日)	1,786	20	2.9	47,546	2.5	21.2321	0.7	—	98.6	15,834
120期末 (2021年10月7日)	1,607	20	△ 8.9	45,792	△ 3.7	20.2736	△ 4.5	—	99.4	14,057
121期末 (2021年11月8日)	1,664	20	4.8	49,342	7.8	20.4947	1.1	—	98.3	14,336
122期末 (2021年12月7日)	1,600	20	△ 2.6	48,302	△ 2.1	19.9578	△ 2.6	—	99.5	13,542
123期末 (2022年1月7日)	1,710	20	8.1	49,452	2.4	20.3891	2.2	—	99.5	14,141
124期末 (2022年2月7日)	1,767	20	4.5	47,435	△ 4.1	21.6350	6.1	—	98.0	14,309
125期末 (2022年3月7日)	1,854	20	6.1	45,694	△ 3.7	22.7004	4.9	—	97.6	14,908
126期末 (2022年4月7日)	2,178	20	18.6	47,360	3.6	26.2122	15.5	—	98.0	17,231
127期末 (2022年5月9日)	2,062	20	△ 4.4	43,619	△ 7.9	25.7450	△ 1.8	—	99.4	15,779
128期末 (2022年6月7日)	2,187	20	7.0	43,679	0.1	27.5786	7.1	—	99.2	16,573
129期末 (2022年7月7日)	1,718	20	△ 20.5	40,806	△ 6.6	25.0212	△ 9.3	—	99.2	12,842
130期末 (2022年8月8日)	1,926	20	13.3	44,036	7.9	26.1994	4.7	—	97.7	14,331
131期末 (2022年9月7日)	1,960	20	2.8	41,593	△ 5.5	27.2452	4.0	—	99.5	14,486
132期末 (2022年10月7日)	2,025	20	4.3	39,914	△ 4.0	27.7334	1.8	—	99.1	14,845
133期末 (2022年11月7日)	2,180	20	8.6	40,228	0.8	29.0454	4.7	—	96.1	15,693
134期末 (2022年12月7日)	2,036	20	△ 5.7	42,132	4.7	26.2037	△ 9.8	—	97.6	14,176
135期末 (2023年1月10日)	2,010	20	△ 0.3	41,673	△ 1.1	25.0685	△ 4.3	—	99.2	13,914
136期末 (2023年2月7日)	2,097	20	5.3	44,050	5.7	25.7320	2.6	—	98.8	14,393
137期末 (2023年3月7日)	2,136	20	2.8	43,462	△ 1.3	26.3783	2.5	—	97.8	14,484

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) は、S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

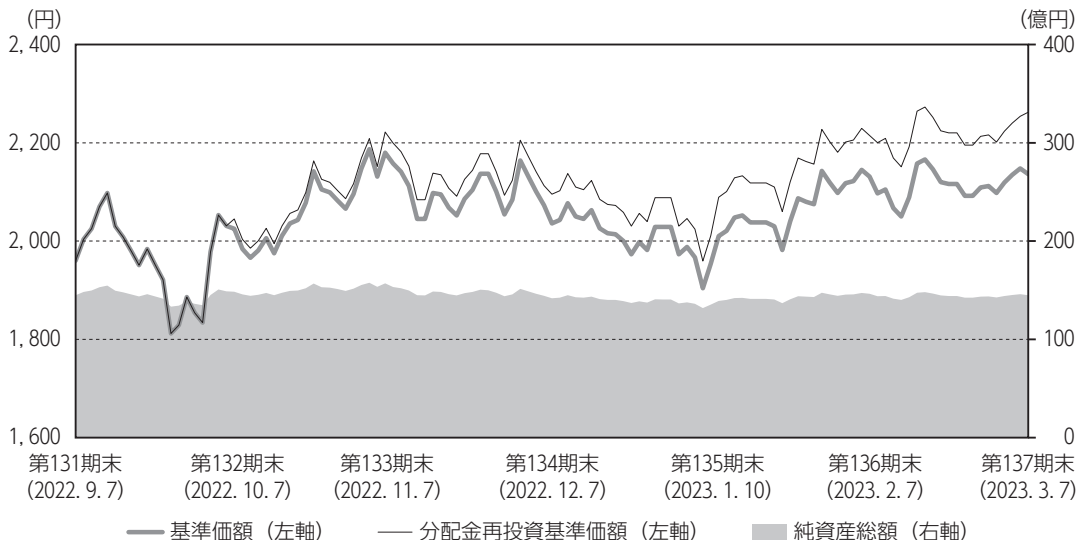
(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

※参考指数の「S & P 500指数 (米ドルベース)」を「S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)」に変更しました。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第132期首：1,960円

第137期末：2,136円（既払分配金120円）

騰落率：15.4%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

投資したクロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）については、米国株式市況が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となった一方、オプション取引戦略やブラジル・リアルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）：オージェンタム・トラストクロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

## ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	%	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第132期	(期首) 2022年 9月 7日	1,960	—	41,593	—	27.2452	—	—	99.5
	9月末	1,854	△ 5.4	38,785	△ 6.7	26.7937	△ 1.7	—	97.7
	(期末) 2022年10月 7日	2,045	4.3	39,914	△ 4.0	27.7334	1.8	—	99.1
第133期	(期首) 2022年10月 7日	2,025	—	39,914	—	27.7334	—	—	99.1
	10月末	2,096	3.5	41,604	4.2	27.9537	0.8	—	98.2
	(期末) 2022年11月 7日	2,200	8.6	40,228	0.8	29.0454	4.7	—	96.1
第134期	(期首) 2022年11月 7日	2,180	—	40,228	—	29.0454	—	—	96.1
	11月末	2,084	△ 4.4	42,284	5.1	26.2719	△ 9.5	—	98.8
	(期末) 2022年12月 7日	2,056	△ 5.7	42,132	4.7	26.2037	△ 9.8	—	97.6
第135期	(期首) 2022年12月 7日	2,036	—	42,132	—	26.2037	—	—	97.6
	12月末	1,988	△ 2.4	41,194	△ 2.2	25.0842	△ 4.3	—	98.2
	(期末) 2023年 1月10日	2,030	△ 0.3	41,673	△ 1.1	25.0685	△ 4.3	—	99.2
第136期	(期首) 2023年 1月10日	2,010	—	41,673	—	25.0685	—	—	99.2
	2023年 1月末	2,098	4.4	43,042	3.3	25.4633	1.6	—	97.6
	(期末) 2023年 2月 7日	2,117	5.3	44,050	5.7	25.7320	2.6	—	98.8
第137期	(期首) 2023年 2月 7日	2,097	—	44,050	—	25.7320	—	—	98.8
	2月末	2,112	0.7	42,733	△ 3.0	26.1997	1.8	—	99.5
	(期末) 2023年 3月 7日	2,156	2.8	43,462	△ 1.3	26.3783	2.5	—	97.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2022. 9. 8 ～ 2023. 3. 7）

### ■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、2022年10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、2月以降は予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことなどから、当作成期末にかけて株価は下落しました。

### ■為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落しました。

米国の金融引き締め観測の後退や日銀によるイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の修正により円高傾向となったことから、ブラジル・リアルは対円で下落しました。

### ■短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を13.75%で維持しました。一方、米国の短期金利は、政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標が4.50～4.75%に引き上げられました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準)の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2022. 9. 8 ~ 2023. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・レアル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準)の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り/ブラジル・レアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・レアルで実質的な運用を行いました。

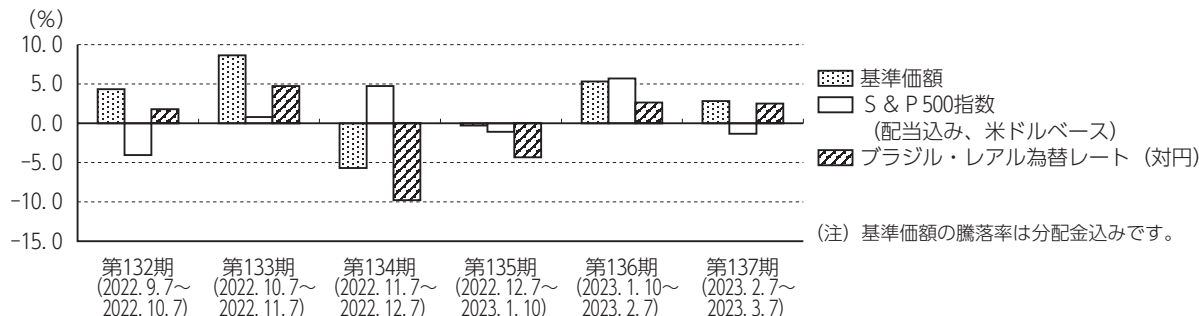
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第132期 2022年9月8日 ～2022年10月7日	第133期 2022年10月8日 ～2022年11月7日	第134期 2022年11月8日 ～2022年12月7日	第135期 2022年12月8日 ～2023年1月10日	第136期 2023年1月11日 ～2023年2月7日	第137期 2023年2月8日 ～2023年3月7日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>
対基準価額比率 (%)	0.98	0.91	0.97	0.99	0.94	0.93
当期の収益 (円)	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,136	1,153	1,164	1,173	1,185	1,192

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 34.70円	✓ 36.40円	✓ 31.25円	✓ 29.08円	✓ 31.42円	✓ 27.81円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,025.94	1,026.17	1,026.41	1,026.68	1,027.13	1,027.41
(d) 分配準備積立金	96.23	110.71	126.89	137.87	146.53	157.68
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,156.88	1,173.29	1,184.55	1,193.64	1,205.09	1,212.91
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,136.88	1,153.29	1,164.55	1,173.64	1,185.09	1,192.91

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	第132期～第137期 (2022. 9. 8～2023. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	14円	0. 664%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2, 055円です。
(投 信 会 社)	(4)	(0. 217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0. 435)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	14	0. 667	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

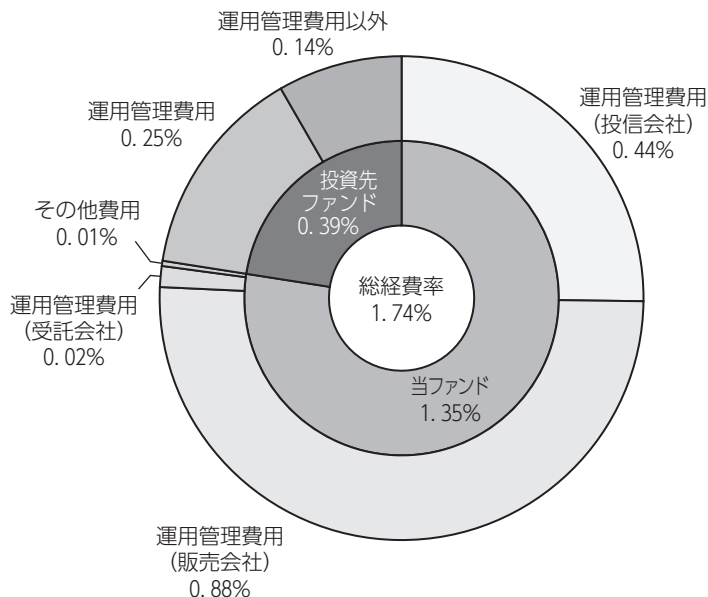
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.74%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.25%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、投資先ファンドの費用には、支払利息、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2022年9月8日から2023年3月7日まで)

決算期	第 132 期 ~ 第 137 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 42,862.92024	千円 1,406,633	千口 71,881.06736	千円 2,458,900

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2022年9月8日から2023年3月7日まで)

第 132 期 ~				第 137 期			
買 付			売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	千口 71,881.06736	千円 2,458,900	円 34

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 137 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND BRL CLASS	千口 416,445.63741	千円 14,167,480	% 97.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第131期末	第 137 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・ マザーファンド	千口 467	千口 467	千円 474

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年3月7日現在

項 目	第 137 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 14,167,480	% 96.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	474	0.0
コール・ローン等、その他	509,278	3.5
投資信託財産総額	14,677,234	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年10月7日)、(2022年11月7日)、(2022年12月7日)、(2023年1月10日)、(2023年2月7日)、(2023年3月7日)現在

項目	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末
<b>(A) 資産</b>	<b>15,026,421,971円</b>	<b>16,478,890,724円</b>	<b>14,383,642,620円</b>	<b>14,073,488,049円</b>	<b>14,559,182,191円</b>	<b>14,677,234,157円</b>
コール・ローン等	313,454,028	279,410,545	550,377,202	264,447,498	337,680,120	509,278,641
投資信託受益証券 (評価額)	14,712,492,918	15,073,805,202	13,832,790,440	13,808,565,619	14,221,027,139	14,167,480,584
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	475,025	474,978	474,978	474,932	474,932	474,932
未収入金	—	1,125,199,999	—	—	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>180,921,692</b>	<b>785,515,464</b>	<b>206,983,565</b>	<b>158,506,363</b>	<b>166,075,524</b>	<b>193,168,241</b>
未払金	—	562,600,000	—	—	—	—
未払収益分配金	146,616,209	143,958,461	139,281,693	138,470,926	137,273,228	135,632,455
未払解約金	18,219,526	61,602,403	51,015,546	2,156,846	13,513,718	42,084,174
未払信託報酬	15,988,088	17,211,368	16,382,807	17,468,140	14,787,604	14,859,675
その他未払費用	97,869	203,232	303,519	410,451	500,974	591,937
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>14,845,500,279</b>	<b>15,693,315,260</b>	<b>14,176,659,055</b>	<b>13,914,981,686</b>	<b>14,393,106,667</b>	<b>14,484,065,916</b>
元本	73,308,104,807	71,979,230,725	69,640,846,945	69,235,463,232	68,636,614,032	67,816,227,857
次期繰越損益金	△ 58,462,604,528	△ 56,285,915,465	△ 55,464,187,890	△ 55,320,481,546	△ 54,243,507,365	△ 53,332,161,941
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>73,308,104,807口</b>	<b>71,979,230,725口</b>	<b>69,640,846,945口</b>	<b>69,235,463,232口</b>	<b>68,636,614,032口</b>	<b>67,816,227,857口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	2,025円	2,180円	2,036円	2,010円	2,097円	2,136円

\* 当作成期首における元本額は73,904,755,258円、当作成期間 (第132期~第137期) 中における追加設定元本額は966,913,482円、同解約元本額は7,055,440,883円です。

\* 第137期末の計算口数当りの純資産額は2,136円です。

\* 第137期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は53,332,161,941円です。

■損益の状況

第132期 自 2022年9月8日 至 2022年10月7日    第134期 自 2022年11月8日 至 2022年12月7日    第136期 自 2023年1月11日 至 2023年2月7日  
 第133期 自 2022年10月8日 至 2022年11月7日    第135期 自 2022年12月8日 至 2023年1月10日    第137期 自 2023年2月8日 至 2023年3月7日

項目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>260,976,232円</b>	<b>265,664,059円</b>	<b>234,126,710円</b>	<b>218,938,710円</b>	<b>220,050,943円</b>	<b>195,724,853円</b>
受取配当金	260,989,896	265,674,123	234,146,783	218,955,452	220,053,262	195,727,180
受取利息	2	6	35	13	9	31
支払利息	△ 13,666	△ 10,070	△ 20,108	△ 16,755	△ 2,328	△ 2,358
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>377,775,876</b>	<b>1,012,479,688</b>	<b>△ 1,085,079,845</b>	<b>△ 241,944,690</b>	<b>529,857,021</b>	<b>217,843,611</b>
売買益	380,995,943	1,018,595,696	11,629,945	1,985,197	532,400,695	219,453,017
売買損	△ 3,220,067	△ 6,116,008	△ 1,096,709,790	△ 243,929,887	△ 2,543,674	△ 1,609,406
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 16,085,957</b>	<b>△ 17,316,731</b>	<b>△ 16,483,094</b>	<b>△ 17,575,072</b>	<b>△ 14,878,127</b>	<b>△ 14,950,638</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>622,666,151</b>	<b>1,260,827,016</b>	<b>△ 867,436,229</b>	<b>△ 40,581,052</b>	<b>735,029,837</b>	<b>398,617,826</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 30,379,242,557</b>	<b>△ 29,301,238,280</b>	<b>△ 27,219,053,371</b>	<b>△ 28,007,013,013</b>	<b>△ 27,861,574,984</b>	<b>△ 26,890,391,449</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 28,559,411,913</b>	<b>△ 28,101,545,740</b>	<b>△ 27,238,416,597</b>	<b>△ 27,134,416,555</b>	<b>△ 26,979,688,990</b>	<b>△ 26,704,755,863</b>
(配当等相当額)	( 7,521,013,892)	( 7,386,330,404)	( 7,148,021,748)	( 7,108,320,895)	( 7,049,920,516)	( 6,967,571,061)
(売買損益相当額)	(△ 36,080,425,805)	(△ 35,487,876,144)	(△ 34,386,438,345)	(△ 34,242,737,450)	(△ 34,029,609,506)	(△ 33,672,326,924)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 58,315,988,319</b>	<b>△ 56,141,957,004</b>	<b>△ 55,324,906,197</b>	<b>△ 55,182,010,620</b>	<b>△ 54,106,234,137</b>	<b>△ 53,196,529,486</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 146,616,209</b>	<b>△ 143,958,461</b>	<b>△ 139,281,693</b>	<b>△ 138,470,926</b>	<b>△ 137,273,228</b>	<b>△ 135,632,455</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 58,462,604,528	△ 56,285,915,465	△ 55,464,187,890	△ 55,320,481,546	△ 54,243,507,365	△ 53,332,161,941
追加信託差損益金	△ 28,559,411,913	△ 28,101,545,740	△ 27,238,416,597	△ 27,134,416,555	△ 26,979,688,990	△ 26,704,755,863
(配当等相当額)	( 7,521,013,892)	( 7,386,330,404)	( 7,148,021,748)	( 7,108,320,895)	( 7,049,920,516)	( 6,967,571,061)
(売買損益相当額)	(△ 36,080,425,805)	(△ 35,487,876,144)	(△ 34,386,438,345)	(△ 34,242,737,450)	(△ 34,029,609,506)	(△ 33,672,326,924)
分配準備積立金	813,287,144	915,021,029	962,043,403	1,017,479,968	1,084,178,775	1,122,345,259
繰越損益金	△ 30,716,479,759	△ 29,099,390,754	△ 29,187,814,696	△ 29,203,544,959	△ 28,347,997,150	△ 27,749,751,337

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
(a) 経費控除後の配当等収益	254,403,495円	262,063,897円	217,643,591円	201,363,619円	215,685,699円	188,648,714円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	7,521,013,892	7,386,330,404	7,148,021,748	7,108,320,895	7,049,920,516	6,967,571,061
(d) 分配準備積立金	705,499,858	796,915,593	883,681,505	954,587,275	1,005,766,304	1,069,329,000
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	8,480,917,245	8,445,309,894	8,249,346,844	8,264,271,789	8,271,372,519	8,225,548,775
(f) 分配金	146,616,209	143,958,461	139,281,693	138,470,926	137,273,228	135,632,455
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	8,334,301,036	8,301,351,433	8,110,065,151	8,125,800,863	8,134,099,291	8,089,916,320
(h) 受益権総口数	73,308,104,807口	71,979,230,725口	69,640,846,945口	69,235,463,232口	68,636,614,032口	67,816,227,857口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
		20円	20円	20円	20円	20円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数（配当込み）はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数（配当込み）のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

## 米ドル・コース (毎月分配型)

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (配当込み、円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
108期末(2020年10月7日)	4,529	60	△ 0.2	47,852	△ 2.4	—	98.4	3,697
109期末(2020年11月9日)	4,440	60	△ 0.6	48,922	2.2	—	98.1	3,496
110期末(2020年12月7日)	4,718	60	7.6	52,022	6.3	—	98.3	3,618
111期末(2021年1月7日)	4,721	40	0.9	52,217	0.4	—	99.1	3,413
112期末(2021年2月8日)	4,890	40	4.4	55,550	6.4	—	99.8	3,245
113期末(2021年3月8日)	5,040	40	3.9	56,467	1.7	—	98.4	3,183
114期末(2021年4月7日)	5,386	40	7.7	60,749	7.6	—	98.1	3,242
115期末(2021年5月7日)	5,431	40	1.6	62,326	2.6	—	99.0	3,208
116期末(2021年6月7日)	5,433	40	0.8	63,089	1.2	—	99.7	3,152
117期末(2021年7月7日)	5,488	40	1.7	65,378	3.6	—	98.0	3,068
118期末(2021年8月10日)	5,520	40	1.3	66,723	2.1	—	98.1	3,033
119期末(2021年9月7日)	5,555	40	1.4	68,007	1.9	—	99.0	2,978
120期末(2021年10月7日)	5,317	40	△ 3.6	66,465	△ 2.3	—	99.6	2,803
121期末(2021年11月8日)	5,565	40	5.4	73,045	9.9	—	99.5	2,911
122期末(2021年12月7日)	5,485	40	△ 0.7	71,430	△ 2.2	—	98.8	2,738
123期末(2022年1月7日)	5,872	40	7.8	74,729	4.6	—	98.7	2,846
124期末(2022年2月7日)	5,697	40	△ 2.3	71,236	△ 4.7	—	97.5	2,701
125期末(2022年3月7日)	5,686	40	0.5	68,479	△ 3.9	—	98.6	2,558
126期末(2022年4月7日)	6,243	40	10.5	76,306	11.4	—	98.7	2,761
127期末(2022年5月9日)	6,384	40	2.9	74,325	△ 2.6	—	99.4	2,737
128期末(2022年6月7日)	6,415	40	1.1	75,259	1.3	—	97.6	2,735
129期末(2022年7月7日)	5,811	40	△ 8.8	72,244	△ 4.0	—	97.5	2,467
130期末(2022年8月8日)	6,146	40	6.5	77,653	7.5	—	99.7	2,557
131期末(2022年9月7日)	6,269	40	2.7	77,561	△ 0.1	—	98.2	2,605
132期末(2022年10月7日)	6,375	40	2.3	75,365	△ 2.8	—	97.8	2,612
133期末(2022年11月7日)	6,661	40	5.1	77,071	2.3	—	99.5	2,704
134期末(2022年12月7日)	6,441	40	△ 2.7	75,377	△ 2.2	—	98.8	2,587
135期末(2023年1月10日)	6,367	40	△ 0.5	71,591	△ 5.0	—	99.6	2,541
136期末(2023年2月7日)	6,571	40	3.8	76,094	6.3	—	98.2	2,617
137期末(2023年3月7日)	6,670	40	2.1	77,088	1.3	—	99.1	2,651

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(配当込み、円換算)は、S & P 500指数(配当込み、米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

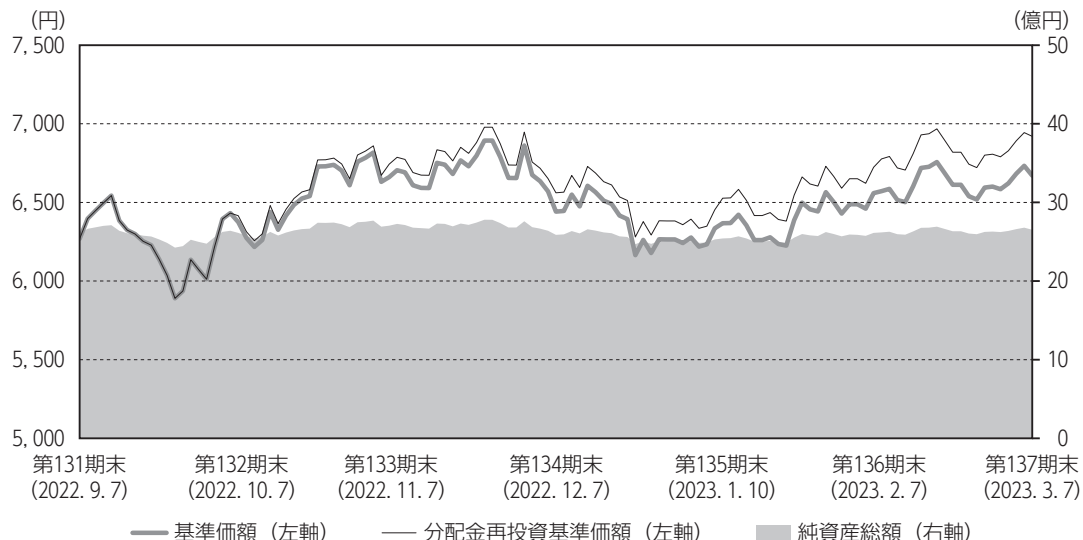
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

※参考指数を「S & P 500指数(円換算)」から「S & P 500指数(配当込み、円換算)」に変更しました。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第132期首：6,269円

第137期末：6,670円 (既払分配金240円)

騰落率：10.4% (分配金再投資ベース)

#### 基準価額の主な変動要因

投資したクロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) については、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となった一方、米ドルが対円で下落 (円高) したことやオプション取引戦略がマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)：オージェンタム・トラスト  
クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第132期	(期首) 2022年 9月 7日	円 6,269	% —	77,561	% —	% —	% 98.2
	9月末	6,072	△ 3.1	73,180	△ 5.6	—	99.2
	(期末) 2022年10月 7日	6,415	2.3	75,365	△ 2.8	—	97.8
第133期	(期首) 2022年10月 7日	6,375	—	75,365	—	—	97.8
	10月末	6,759	6.0	80,368	6.6	—	98.8
	(期末) 2022年11月 7日	6,701	5.1	77,071	2.3	—	99.5
第134期	(期首) 2022年11月 7日	6,661	—	77,071	—	—	99.5
	11月末	6,655	△ 0.1	76,507	△ 0.7	—	98.0
	(期末) 2022年12月 7日	6,481	△ 2.7	75,377	△ 2.2	—	98.8
第135期	(期首) 2022年12月 7日	6,441	—	75,377	—	—	98.8
	12月末	6,277	△ 2.5	71,223	△ 5.5	—	99.5
	(期末) 2023年 1月10日	6,407	△ 0.5	71,591	△ 5.0	—	99.6
第136期	(期首) 2023年 1月10日	6,367	—	71,591	—	—	99.6
	2023年 1月末	6,429	1.0	73,169	2.2	—	99.6
	(期末) 2023年 2月 7日	6,611	3.8	76,094	6.3	—	98.2
第137期	(期首) 2023年 2月 7日	6,571	—	76,094	—	—	98.2
	2月末	6,600	0.4	75,906	△ 0.2	—	98.4
	(期末) 2023年 3月 7日	6,710	2.1	77,088	1.3	—	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

(2022. 9. 8 ~ 2023. 3. 7)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、2022年10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、2月以降は予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことなどから、当作成期末にかけて株価は下落しました。

### ■ 為替相場

米ドル為替相場は、対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）が大幅な金融引き締めを継続したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで、2022年10月下旬にかけて円安米ドル高が進行しました。その後は、米国金利が低下に転じたことや、日銀が長期金利の許容変動幅を拡大したことを受けて、米ドルは対円で下落しました。2023年2月以降は、堅調な米国経済などを背景に米国金利が再び上昇に転じたことで米ドルは対円で買い戻されました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

### ■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2022. 9. 8 ~ 2023. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準) の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

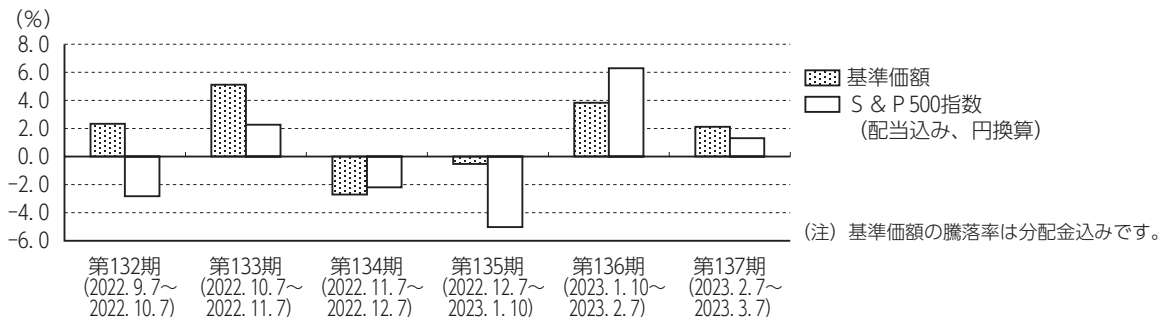
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
	2022年9月8日 ～2022年10月7日	2022年10月8日 ～2022年11月7日	2022年11月8日 ～2022年12月7日	2022年12月8日 ～2023年1月10日	2023年1月11日 ～2023年2月7日	2023年2月8日 ～2023年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.62	0.60	0.62	0.62	0.61	0.60
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	857	876	890	903	917	929

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 60.32円	✓ 58.40円	✓ 53.84円	✓ 53.59円	✓ 53.67円	✓ 51.62円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	733.08	733.31	733.65	733.96	734.35	734.85
(d) 分配準備積立金	104.54	124.63	142.72	156.26	169.48	182.67
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	897.94	916.35	930.23	943.83	957.51	969.15
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	857.94	876.35	890.23	903.83	917.51	929.15

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第132期～第137期 (2022. 9. 8～2023. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	43円	0. 667%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6, 484円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(28)	(0. 436)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	43	0. 671	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

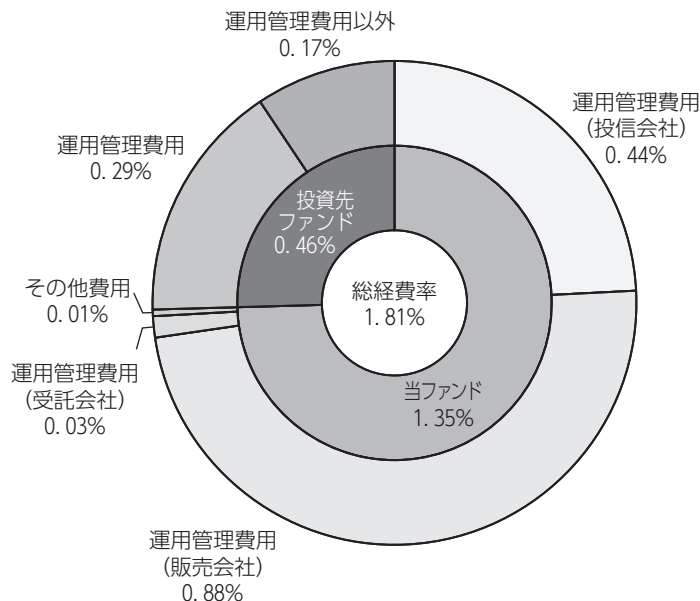
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.81%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.29%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、投資先ファンドの費用には、支払利息、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2022年9月8日から2023年3月7日まで)

決算期	第 132 期 ～ 第 137 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	1,010.69214	143,477	1,465.07443	205,300

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2022年9月8日から2023年3月7日まで)

第 132 期 ～				第 137 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	1,465.07443	205,300	140

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 137 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND USD CLASS	18,027.99334	2,629,220	99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第131期末	第 137 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・ マザーファンド	12	12	12

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年3月7日現在

項 目	第 137 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,629,220	98.3
ダイワ・マネー・マザーファンド	12	0.0
コール・ローン等、その他	45,608	1.7
投資信託財産総額	2,674,842	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年10月7日)、(2022年11月7日)、(2022年12月7日)、(2023年1月10日)、(2023年2月7日)、(2023年3月7日)現在

項目	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末	第136期末	第137期末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,642,819,896円</b>	<b>2,724,370,651円</b>	<b>2,609,747,278円</b>	<b>2,562,998,031円</b>	<b>2,638,302,403円</b>	<b>2,674,842,431円</b>
コール・ローン等	88,200,775	34,063,109	51,756,345	30,536,965	67,008,065	45,608,863
投資信託受益証券 (評価額)	2,554,606,127	2,690,294,549	2,557,977,940	2,532,448,074	2,571,281,346	2,629,220,576
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	12,994	12,993	12,993	12,992	12,992	12,992
<b>(B) 負債</b>	<b>29,957,814</b>	<b>20,258,323</b>	<b>21,788,386</b>	<b>21,008,108</b>	<b>20,483,020</b>	<b>22,947,728</b>
未払収益分配金	16,393,908	16,237,312	16,072,193	15,970,073	15,935,227	15,903,622
未払解約金	10,693,001	935,052	2,657,322	1,766,531	1,814,103	4,216,367
未払信託報酬	2,853,453	3,049,850	3,004,383	3,197,464	2,643,478	2,720,882
その他未払費用	17,452	36,109	54,488	74,040	90,212	106,857
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>2,612,862,082</b>	<b>2,704,112,328</b>	<b>2,587,958,892</b>	<b>2,541,989,923</b>	<b>2,617,819,383</b>	<b>2,651,894,703</b>
元本	4,098,477,149	4,059,328,114	4,018,048,450	3,992,518,365	3,983,806,828	3,975,905,633
次期繰越損益金	△ 1,485,615,067	△ 1,355,215,786	△ 1,430,089,558	△ 1,450,528,442	△ 1,365,987,445	△ 1,324,010,930
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>4,098,477,149口</b>	<b>4,059,328,114口</b>	<b>4,018,048,450口</b>	<b>3,992,518,365口</b>	<b>3,983,806,828口</b>	<b>3,975,905,633口</b>
1万口当り基準価額 (C / D)	<b>6.375円</b>	<b>6.661円</b>	<b>6.441円</b>	<b>6.367円</b>	<b>6.571円</b>	<b>6.670円</b>

\* 当作成期首における元本額は4,156,561,010円、当作成期間 (第132期～第137期) 中における追加設定元本額は56,500,076円、同解約元本額は237,155,453円です。

\* 第137期末の計算口数当りの純資産額は6,670円です。

\* 第137期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,324,010,930円です。

## ■損益の状況

第132期 自 2022年9月8日 至 2022年10月7日    第134期 自 2022年11月8日 至 2022年12月7日    第136期 自 2023年1月11日 至 2023年2月7日

第133期 自 2022年10月8日 至 2022年11月7日    第135期 自 2022年12月8日 至 2023年1月10日    第137期 自 2023年2月8日 至 2023年3月7日

項目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>25,907,101円</b>	<b>24,256,064円</b>	<b>24,659,495円</b>	<b>24,614,958円</b>	<b>21,968,212円</b>	<b>21,544,155円</b>
受取配当金	25,908,572	24,257,998	24,662,430	24,616,427	21,968,483	21,544,826
受取利息	3	2	1	2	—	12
支払利息	△ 1,474	△ 1,936	△ 2,936	△ 1,471	△ 271	△ 683
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>36,878,878</b>	<b>111,242,121</b>	<b>△ 94,228,610</b>	<b>△ 34,950,165</b>	<b>77,993,954</b>	<b>36,355,903</b>
売買益	38,684,057	111,630,945	101,327	309,390	78,017,995	36,367,273
売買損	△ 1,805,179	△ 388,824	△ 94,329,937	△ 35,259,555	△ 24,041	△ 11,370
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 2,870,905</b>	<b>△ 3,068,507</b>	<b>△ 3,022,762</b>	<b>△ 3,217,016</b>	<b>△ 2,659,650</b>	<b>△ 2,737,527</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>59,915,074</b>	<b>132,429,678</b>	<b>△ 72,591,877</b>	<b>△ 13,552,223</b>	<b>97,302,516</b>	<b>55,162,531</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 115,310,158</b>	<b>△ 70,971,622</b>	<b>△ 44,664,058</b>	<b>△ 43,635,145</b>	<b>△ 72,834,984</b>	<b>8,492,988</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 1,413,826,075</b>	<b>△ 1,400,436,530</b>	<b>△ 1,386,089,546</b>	<b>△ 1,377,371,001</b>	<b>△ 1,374,519,750</b>	<b>△ 1,371,762,827</b>
(配当等相当額)	( 300,452,099)	( 297,678,504)	( 294,787,051)	( 293,038,752)	( 292,554,047)	( 292,169,474)
(売買損益相当額)	(△ 1,714,278,174)	(△ 1,698,115,034)	(△ 1,680,876,597)	(△ 1,670,409,753)	(△ 1,667,073,797)	(△ 1,663,932,301)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 1,469,221,159</b>	<b>△ 1,338,978,474</b>	<b>△ 1,414,017,365</b>	<b>△ 1,434,558,369</b>	<b>△ 1,350,052,218</b>	<b>△ 1,308,107,308</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 16,393,908</b>	<b>△ 16,237,312</b>	<b>△ 16,072,193</b>	<b>△ 15,970,073</b>	<b>△ 15,935,227</b>	<b>△ 15,903,622</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 1,485,615,067	△ 1,355,215,786	△ 1,430,089,558	△ 1,450,528,442	△ 1,365,987,445	△ 1,324,010,930
追加信託差損益金	△ 1,413,826,075	△ 1,400,436,530	△ 1,386,089,546	△ 1,377,371,001	△ 1,374,519,750	△ 1,371,762,827
(配当等相当額)	( 300,452,099)	( 297,678,504)	( 294,787,051)	( 293,038,752)	( 292,554,047)	( 292,169,474)
(売買損益相当額)	(△ 1,714,278,174)	(△ 1,698,115,034)	(△ 1,680,876,597)	(△ 1,670,409,753)	(△ 1,667,073,797)	(△ 1,663,932,301)
分配準備積立金	51,175,402	58,062,222	62,911,993	67,818,162	72,967,640	77,253,294
繰越損益金	△ 122,964,394	△ 12,841,478	△ 106,912,005	△ 140,975,603	△ 64,435,335	△ 29,501,397

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。



ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－米ドル・コース（毎月分配型）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
(a) 経費控除後の配当等収益	24,722,566円	23,706,801円	21,636,733円	21,397,942円	21,383,621円	20,525,521円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	300,452,099	297,678,504	294,787,051	293,038,752	292,554,047	292,169,474
(d) 分配準備積立金	42,846,744	50,592,733	57,347,453	62,390,293	67,519,246	72,631,395
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	368,021,409	371,978,038	373,771,237	376,826,987	381,456,914	385,326,390
(f) 分配金	16,393,908	16,237,312	16,072,193	15,970,073	15,935,227	15,903,622
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	351,627,501	355,740,726	357,699,044	360,856,914	365,521,687	369,422,768
(h) 受益権総口数	4,098,477,149口	4,059,328,114口	4,018,048,450口	3,992,518,365口	3,983,806,828口	3,975,905,633口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第132期	第133期	第134期	第135期	第136期	第137期
		40円	40円	40円	40円	40円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数（配当込み）はS&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－米ドル・コース（毎月分配型）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数（配当込み）のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

## 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期騰 落率	(参考指数)	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
88期末(2020年10月7日)	2,287	30	△ 1.2	23,594	△ 1.8	—	98.0	136
89期末(2020年11月9日)	2,240	30	△ 0.7	24,666	4.5	—	98.1	132
90期末(2020年12月7日)	2,461	30	11.2	26,045	5.6	—	98.7	147
91期末(2021年1月7日)	2,518	30	3.5	26,419	1.4	—	98.1	146
92期末(2021年2月8日)	2,610	30	4.8	27,426	3.8	—	99.3	152
93期末(2021年3月8日)	2,603	30	0.9	27,151	△ 1.0	—	99.8	149
94期末(2021年4月7日)	2,732	30	6.1	28,824	6.2	—	98.0	158
95期末(2021年5月7日)	2,776	30	2.7	29,754	3.2	—	98.1	160
96期末(2021年6月7日)	2,792	30	1.7	30,003	0.8	—	98.0	159
97期末(2021年7月7日)	2,790	30	1.0	30,841	2.8	—	98.5	160
98期末(2021年8月10日)	2,823	30	2.3	31,504	2.1	—	98.0	158
99期末(2021年9月7日)	2,890	30	3.4	32,280	2.5	—	98.0	159
100期末(2021年10月7日)	2,703	30	△ 5.4	31,089	△ 3.7	—	99.0	149
101期末(2021年11月8日)	2,770	30	3.6	33,499	7.8	—	99.1	151
102期末(2021年12月7日)	2,472	30	△ 9.7	32,793	△ 2.1	—	99.1	138
103期末(2022年1月7日)	2,669	30	9.2	33,574	2.4	—	99.2	145
104期末(2022年2月7日)	2,608	30	△ 1.2	32,205	△ 4.1	—	99.4	123
105期末(2022年3月7日)	2,549	30	△ 1.1	31,023	△ 3.7	—	97.5	121
106期末(2022年4月7日)	2,903	30	15.1	32,154	3.6	—	99.7	125
107期末(2022年5月9日)	2,816	30	△ 2.0	29,614	△ 7.9	—	98.5	122
108期末(2022年6月7日)	2,861	30	2.7	29,655	0.1	—	97.5	123
109期末(2022年7月7日)	2,427	30	△ 14.1	27,704	△ 6.6	—	99.2	104
110期末(2022年8月8日)	2,622	30	9.3	29,897	7.9	—	99.2	110
111期末(2022年9月7日)	2,646	30	2.1	28,239	△ 5.5	—	98.5	112
112期末(2022年10月7日)	2,664	30	1.8	27,099	△ 4.0	—	99.6	113
113期末(2022年11月7日)	2,860	30	8.5	27,312	0.8	—	97.5	122
114期末(2022年12月7日)	2,803	30	△ 0.9	28,605	4.7	—	97.0	119
115期末(2023年1月10日)	2,813	30	1.4	28,293	△ 1.1	—	99.1	121
116期末(2023年2月7日)	2,924	30	5.0	29,907	5.7	—	99.3	130
117期末(2023年3月7日)	3,033	30	4.8	29,508	△ 1.3	—	98.5	138

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) は、S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

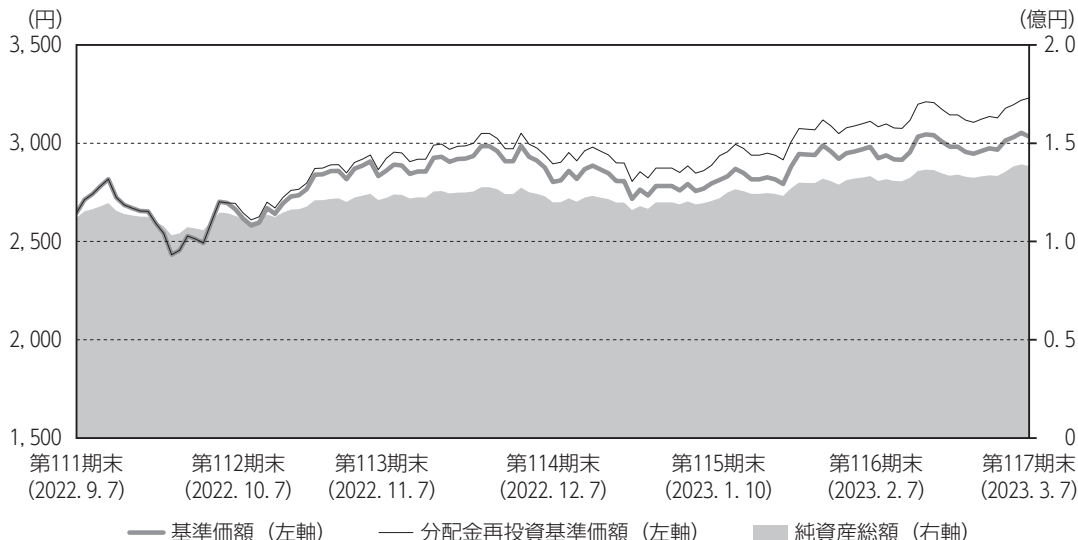
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

※参考指数を「S & P 500指数 (米ドルベース)」から「S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)」に変更しました。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第112期首：2,646円

第117期末：3,033円（既払分配金180円）

騰落率：22.1%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

投資したクローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。クローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）については、米国株式市況が上昇したことや為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となった一方、オプション取引戦略がマイナス要因となりました。なお、選定通貨は対円でまちまちな動きとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）：オージェンタム・トラストクローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第112期	(期首) 2022年 9月 7日	2,646	—	28,239	—	—	98.5
	9月末	2,513	△ 5.0	26,333	△ 6.7	—	98.4
	(期末) 2022年10月 7日	2,694	1.8	27,099	△ 4.0	—	99.6
第113期	(期首) 2022年10月 7日	2,664	—	27,099	—	—	99.6
	10月末	2,870	7.7	28,246	4.2	—	99.2
	(期末) 2022年11月 7日	2,890	8.5	27,312	0.8	—	97.5
第114期	(期首) 2022年11月 7日	2,860	—	27,312	—	—	97.5
	11月末	2,908	1.7	28,707	5.1	—	98.7
	(期末) 2022年12月 7日	2,833	△ 0.9	28,605	4.7	—	97.0
第115期	(期首) 2022年12月 7日	2,803	—	28,605	—	—	97.0
	12月末	2,793	△ 0.4	27,967	△ 2.2	—	97.3
	(期末) 2023年 1月10日	2,843	1.4	28,293	△ 1.1	—	99.1
第116期	(期首) 2023年 1月10日	2,813	—	28,293	—	—	99.1
	2023年 1月末	2,921	3.8	29,223	3.3	—	98.5
	(期末) 2023年 2月 7日	2,954	5.0	29,907	5.7	—	99.3
第117期	(期首) 2023年 2月 7日	2,924	—	29,907	—	—	99.3
	2月末	2,974	1.7	29,013	△ 3.0	—	98.9
	(期末) 2023年 3月 7日	3,063	4.8	29,508	△ 1.3	—	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2022. 9. 8 ～ 2023. 3. 7）

### ■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したこと、企業業績の見通しの下方修正が相次いだことなどが嫌気され、2022年10月半ばにかけて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや、米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感されて上昇しましたが、年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化が懸念されて下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の伸びが鈍化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースの減速が期待されたことなどから再び上昇に転じましたが、2月以降は予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことなどから、当作成期末にかけて株価は下落しました。

### ■為替相場

選定通貨（※）は対円でまちまちな動きとなりました。

当作成期における選定通貨の値動きは、中国経済の再開期待などを受けて、メキシコ・ペソ、チリ・ペソ、ルーマニア・レイ、チェコ・コルナ、ハンガリー・フォリント、ポーランド・ズロチは対円で上昇（円安）しました。一方で、トルコ・リラ、ブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、南アフリカ・ランドは対円で下落（円高）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

### ■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。一方、米国の短期金利は、政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンズ・レート）の誘導目標が4.50～4.75%に引き上げられました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2022. 9. 8 ~ 2023. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてクロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

## ■クローキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クローキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益（利息収入）が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

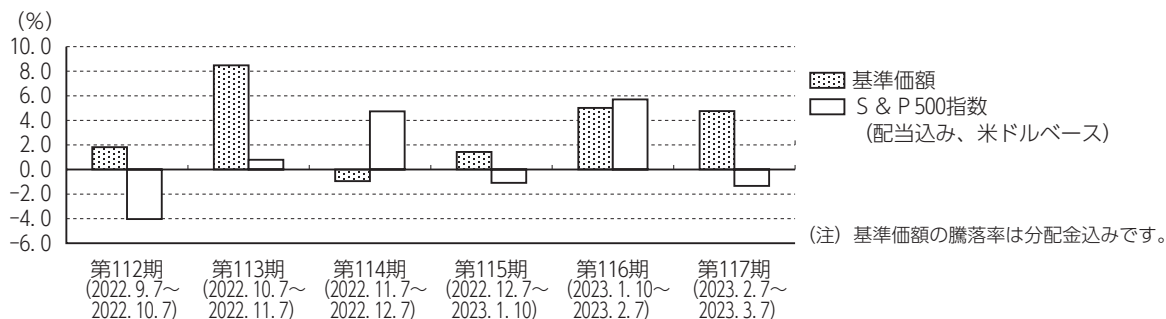
## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
	2022年9月8日 ～2022年10月7日	2022年10月8日 ～2022年11月7日	2022年11月8日 ～2022年12月7日	2022年12月8日 ～2023年1月10日	2023年1月11日 ～2023年2月7日	2023年2月8日 ～2023年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	1.11	1.04	1.06	1.06	1.02	0.98
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	577	591	599	606	612	619

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 40.76円	✓ 43.04円	✓ 37.77円	✓ 36.52円	✓ 36.25円	✓ 36.32円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	394.98	396.38	398.06	402.23	408.97	414.11
(d) 分配準備積立金	172.13	181.64	193.16	197.35	197.61	199.41
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	607.88	621.07	629.00	636.11	642.83	649.85
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	577.88	591.07	599.00	606.11	612.83	619.85

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。





## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。また、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性及び資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第112期～第117期 (2022. 9. 8～2023. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	19円	0. 664%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2, 833円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0. 217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0. 435)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	19	0. 666	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

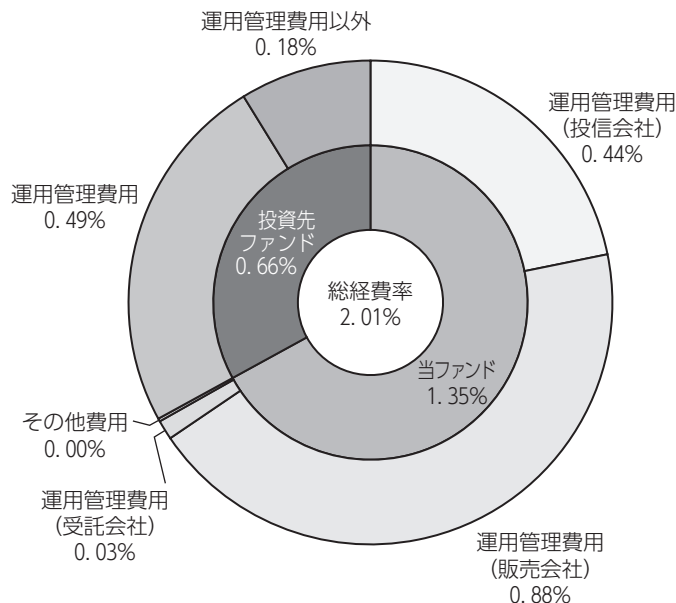
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



総経費率（①＋②＋③）	2.01%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、投資先ファンドの費用には、支払利息、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2022年9月8日から2023年3月7日まで)

決算期	第 112 期 ~ 第 117 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 589.05063	千円 16,929	千口 213.6681	千円 6,200

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2022年9月8日から2023年3月7日まで)

第 112 期 ~				第 117 期			
買 付			売 付				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 221.66641	千円 6,400	円 28	CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 213.6681	千円 6,200	円 29

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 117 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI US STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	千口 4,424.87918	千円 136,246	% 98.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第111期末	第 117 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年3月7日現在

項 目	第 117 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 136,246	% 97.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	3,611	2.6
投資信託財産総額	139,867	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年10月7日)、(2022年11月7日)、(2022年12月7日)、(2023年1月10日)、(2023年2月7日)、(2023年3月7日)現在

項目	第112期末	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末
<b>(A) 資産</b>	<b>114,489,730円</b>	<b>123,635,915円</b>	<b>124,370,887円</b>	<b>123,392,166円</b>	<b>132,238,997円</b>	<b>139,867,732円</b>
コール・ローン等	1,862,878	4,467,308	2,019,727	2,512,929	2,399,568	3,611,469
投資信託受益証券 (評価額)	112,617,041	119,158,797	116,341,351	120,869,428	129,829,620	136,246,454
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	9,811	9,810	9,810	9,809	9,809	9,809
未収入金	—	—	5,999,999	—	—	—
<b>(B) 負債</b>	<b>1,397,717</b>	<b>1,421,010</b>	<b>4,427,585</b>	<b>1,454,552</b>	<b>1,478,269</b>	<b>1,533,569</b>
未払金	—	—	3,000,000	—	—	—
未払収益分配金	1,273,347	1,282,007	1,283,804	1,300,369	1,341,588	1,368,268
未払解約金	—	3,006	3,241	110	294	211,911
未払信託報酬	123,628	134,447	138,158	150,780	132,299	138,468
その他未払費用	742	1,550	2,382	3,293	4,088	4,922
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>113,092,013</b>	<b>122,214,905</b>	<b>119,943,302</b>	<b>121,937,614</b>	<b>130,760,728</b>	<b>138,334,163</b>
元本	424,449,068	427,335,982	427,934,730	433,456,614	447,196,029	456,089,485
次期繰越損益金	△ 311,357,055	△ 305,121,077	△ 307,991,428	△ 311,519,000	△ 316,435,301	△ 317,755,322
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>424,449,068口</b>	<b>427,335,982口</b>	<b>427,934,730口</b>	<b>433,456,614口</b>	<b>447,196,029口</b>	<b>456,089,485口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	2,664円	2,860円	2,803円	2,813円	2,924円	3,033円

\* 当作成期首における元本額は423,763,312円、当作成期間 (第112期~第117期) 中における追加設定元本額は39,632,604円、同解約元本額は7,306,431円です。

\* 第117期末の計算口数当りの純資産額は3,033円です。

\* 第117期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は317,755,322円です。

■損益の状況

第112期 自 2022年9月8日 至 2022年10月7日      第114期 自 2022年11月8日 至 2022年12月7日      第116期 自 2023年1月11日 至 2023年2月7日  
 第113期 自 2022年10月8日 至 2022年11月7日      第115期 自 2022年12月8日 至 2023年1月10日      第117期 自 2023年2月8日 至 2023年3月7日

項目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>1,834,361円</b>	<b>1,865,172円</b>	<b>1,755,467円</b>	<b>1,718,235円</b>	<b>1,655,756円</b>	<b>1,693,790円</b>
受取配当金	1,834,422	1,865,198	1,755,581	1,718,344	1,655,772	1,693,801
支払利息	△ 61	△ 26	△ 114	△ 109	△ 16	△ 11
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>354,840</b>	<b>7,876,164</b>	<b>△ 2,787,782</b>	<b>212,705</b>	<b>4,704,266</b>	<b>4,714,277</b>
売買益	364,995	7,876,473	9	209,739	4,704,366	4,721,949
売買損	△ 10,155	△ 309	△ 2,787,791	2,966	△ 100	△ 7,672
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 124,370</b>	<b>△ 135,255</b>	<b>△ 138,990</b>	<b>△ 151,691</b>	<b>△ 133,094</b>	<b>△ 139,302</b>
<b>(D) 当期損益金 (A + B + C)</b>	<b>2,064,831</b>	<b>9,606,081</b>	<b>△ 1,171,305</b>	<b>1,779,249</b>	<b>6,226,928</b>	<b>6,268,765</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 59,526,091</b>	<b>△ 58,729,731</b>	<b>△ 50,082,132</b>	<b>△ 52,265,601</b>	<b>△ 51,784,563</b>	<b>△ 46,787,685</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 252,622,448</b>	<b>△ 254,715,420</b>	<b>△ 255,454,187</b>	<b>△ 259,732,279</b>	<b>△ 269,536,078</b>	<b>△ 275,868,134</b>
(配当等相当額)	( 16,765,274)	( 16,938,958)	( 17,034,713)	( 17,435,121)	( 18,289,249)	( 18,887,353)
(売買損益相当額)	(△ 269,387,722)	(△ 271,654,378)	(△ 272,488,900)	(△ 277,167,400)	(△ 287,825,327)	(△ 294,755,487)
<b>(G) 合計 (D + E + F)</b>	<b>△ 310,083,708</b>	<b>△ 303,839,070</b>	<b>△ 306,707,624</b>	<b>△ 310,218,631</b>	<b>△ 315,093,713</b>	<b>△ 316,387,054</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 1,273,347</b>	<b>△ 1,282,007</b>	<b>△ 1,283,804</b>	<b>△ 1,300,369</b>	<b>△ 1,341,588</b>	<b>△ 1,368,268</b>
次期繰越損益金 (G + H)	△ 311,357,055	△ 305,121,077	△ 307,991,428	△ 311,519,000	△ 316,435,301	△ 317,755,322
追加信託差損益金	△ 252,622,448	△ 254,715,420	△ 255,454,187	△ 259,732,279	△ 269,536,078	△ 275,868,134
(配当等相当額)	( 16,765,274)	( 16,938,958)	( 17,034,713)	( 17,435,121)	( 18,289,249)	( 18,887,353)
(売買損益相当額)	(△ 269,387,722)	(△ 271,654,378)	(△ 272,488,900)	(△ 277,167,400)	(△ 287,825,327)	(△ 294,755,487)
分配準備積立金	7,763,098	8,319,718	8,598,989	8,837,420	9,116,576	9,383,601
繰越損益金	△ 66,497,705	△ 58,725,375	△ 61,136,230	△ 60,624,141	△ 56,015,799	△ 51,270,789

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,730,151円	1,839,271円	1,616,477円	1,583,260円	1,621,112円	1,656,972円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	16,765,274	16,938,958	17,034,713	17,435,121	18,289,249	18,887,353
(d) 分配準備積立金	7,306,294	7,762,454	8,266,316	8,554,529	8,837,052	9,094,897
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	25,801,719	26,540,683	26,917,506	27,572,910	28,747,413	29,639,222
(f) 分配金	1,273,347	1,282,007	1,283,804	1,300,369	1,341,588	1,368,268
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	24,528,372	25,258,676	25,633,702	26,272,541	27,405,825	28,270,954
(h) 受益権総口数	424,449,068口	427,335,982口	427,934,730口	433,456,614口	447,196,029口	456,089,485口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1万口当り分配金(税込み)	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
		30円	30円	30円	30円	30円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金)、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

S & P 500指数 (配当込み) は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数 (配当込み) のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

クロッキーUSストラテジー・ファンド  
 (日本円・クラス/豪ドル・クラス/ブラジル・リアル・クラス/  
 米ドル・クラス/通貨セレクト・クラス)

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプル・リターンズ－日本円・コース（毎月分配型）/豪ドル・コース（毎月分配型）/ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）/米ドル・コース（毎月分配型）/通貨セレクト・コース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス/豪ドル・クラス/ブラジル・リアル・クラス/米ドル・クラス/通貨セレクト・クラス）」を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

(日本円建て)

貸借対照表  
 2022年2月28日

**資産**

投資資産の評価額（簿価 ¥17,492,760,387）	¥	17,718,478,675
現金および現金同等物		86,381,861
スワップ取引による評価益		4,433,462
終了したスワップ取引に係る未収金		780,423,813
<b>資産合計</b>		<b>18,589,717,811</b>

**負債**

スワップ取引による評価損		17,252,506
未払：		
専門家報酬		37,281,310
担保不足額		22,533,988
運用会社報酬		2,300,839
管理会社報酬		1,759,922
登録料		492,435
名義書換代理人報酬		482,375
受託会社報酬		171,075
為替投資アドバイザー報酬		49,354
<b>負債合計</b>		<b>82,323,804</b>

**純資産**

	¥	18,507,394,007
豪ドル・クラス	¥	954,233,206
ブラジル・リアル・クラス		14,593,434,798
日本円・クラス		333,626,006
通貨セレクト・クラス		121,109,552
米ドル・クラス		2,504,990,445
	¥	<b>18,507,394,007</b>

ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－

発行済み受益証券

豪ドル・クラス	12,402,028
ブラジル・リアル・クラス	469,097,974
日本円・クラス	4,233,475
通貨セレクト・クラス	4,567,588
米ドル・クラス	19,963,704

受益証券1口当り純資産額

豪ドル・クラス	¥	76,942
ブラジル・リアル・クラス	¥	31,110
日本円・クラス	¥	78,807
通貨セレクト・クラス	¥	26,515
米ドル・クラス	¥	125,477

(日本円建て)

損益計算書

2022年2月28日に終了した年度

費用

運用会社報酬	¥	30,764,568
専門家報酬		27,462,341
担保不足費用		17,501,088
支払利息		14,837,383
管理会社報酬		13,295,404
名義書換代理人報酬		2,347,390
受託会社報酬		1,293,996
為替投資アドバイザー報酬		223,376
その他費用		745,182
<b>費用合計</b>		<b>108,470,728</b>

投資純損失

(108,470,728)

実現益 / (損) および評価益 / (損) :

実現益 / (損) の内訳:

証券投資	4,476,107,004
スワップ取引	1,196,462,321
外国為替取引および外国為替先渡取引	(9,928,027)
<b>純実現益</b>	<b>5,662,641,298</b>

評価益 / (損) の純変動の内訳:

証券投資	667,035,403
スワップ取引	294,442,790
外国為替換算	(909,810)
<b>評価益の純変動</b>	<b>960,568,383</b>

純実現益・評価益

6,623,209,681

運用による純資産の純減

¥ 6,514,738,953



(日本円建て)

投資明細表  
2022年2月28日

ストラクチャード商品

投資資産の明細	受益証券数	純資産に 占める割合	評価額
Share Basket Swap Transaction* - トータル・リターン・スワップ	1,195,986	95.74%	¥ 17,718,478,675
ストラクチャード商品計 (簿価 ¥17,492,760,387)			17,718,478,675
投資資産計 (簿価 ¥17,492,760,387)		95.74%	¥ 17,718,478,675

\*当ファンドは J.P. Morgan Securities plc. との間で締結したファンドの残高と同金額の元本のパフォーマンス・スワップを通じて Share Basket Swap Transaction と同様のエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
AUD	J.P. Morgan Securities plc	10,798,835	3/31/2022	USD	(7,836,174)	¥ 3,313,684	0.02%

ブラジル・リアル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
BRL	J.P. Morgan Securities plc	621,761,132	3/31/2022	USD	(120,690,476)	¥ (16,680,631)	(0.09)%

日本円・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
JPY	J.P. Morgan Securities plc	328,386,581	3/31/2022	USD	(2,851,197)	¥ 998,388	0.01%

通貨セレクト・クラス為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	純評価益 (損)	純資産に 占める割合
BRL	J.P. Morgan Securities plc	1,104,646	3/31/2022	USD	(214,424)	¥ (29,634)	(0.00)%
CLP	J.P. Morgan Securities plc	130,324,189	3/31/2022	USD	(163,971)	121,390	0.00%
COP	J.P. Morgan Securities plc	639,487,961	3/31/2022	USD	(163,971)	(3,233)	(0.00)%
CZK	J.P. Morgan Securities plc	102,705	3/31/2022	USD	(4,581)	(64,541)	(0.00)%
INR	J.P. Morgan Securities plc	12,671,598	3/31/2022	USD	(168,175)	(97,886)	(0.00)%
MXN	J.P. Morgan Securities plc	3,693,963	3/31/2022	USD	(180,789)	(10,102)	(0.00)%
RON	J.P. Morgan Securities plc	703,892	3/31/2022	USD	(159,767)	(55,229)	(0.00)%
RUB	J.P. Morgan Securities plc	1,033,257	3/31/2022	USD	(9,640)	(311,250)	(0.00)%
合計						¥ (450,485)	(0.00)%

外国為替スワップ取引に係る評価益

¥ 4,433,462

外国為替スワップ取引に係る評価損

(17,252,506)

合計

¥ (12,819,044)

## ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ-

### 用語集:

AUD	豪ドル
BRL	ブラジル・レアル
CLP	チリ・ペソ
COP	コロンビア・ペソ
CZK	チェコ・コルナ
INR	インド・ルピー
JPY	日本・円
MXN	メキシコ・ペソ
RON	ルーマニア・レイ
RUB	ロシア・ルーブル
USD	米ドル

<補足情報>

当ファンド（ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）ートリプルリターンズー）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2023年3月7日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年9月8日～2023年3月7日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年3月7日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第18期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

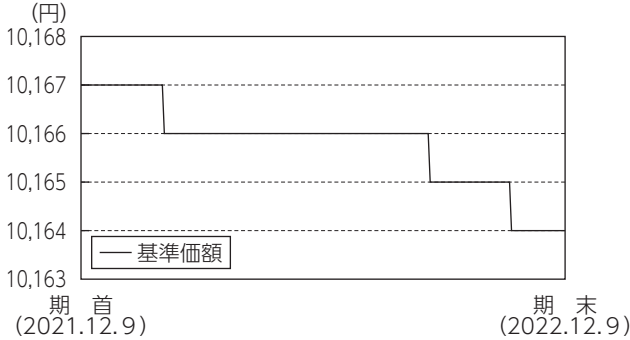
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2021年12月9日	円	%	%
	10,167	-	-
12月末	10,167	0.0	-
2022年1月末	10,167	0.0	-
2月末	10,166	△0.0	-
3月末	10,166	△0.0	-
4月末	10,166	△0.0	-
5月末	10,166	△0.0	-
6月末	10,166	△0.0	-
7月末	10,166	△0.0	-
8月末	10,165	△0.0	-
9月末	10,165	△0.0	-
10月末	10,164	△0.0	-
11月末	10,164	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	10,164	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,167円 期末：10,164円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	14,815,299	100.0
投資信託財産総額	14,815,299	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>14,815,299,248円</b>
コール・ローン等	14,815,299,248
<b>(B) 負債</b>	<b>113,000</b>
未払解約金	113,000
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>14,815,186,248</b>
元本	14,576,480,402
次期繰越損益金	238,705,846
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>14,576,480,402口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	10,164円

\* 期首における元本額は6,671,046,264円、当作成期間中における追加設定元本額は21,845,860,602円、同解約元本額は13,940,426,464円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	3,627,565,740円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・パリュウ (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・パリュウ (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ/RICI <sup>SM</sup> コモディティ・ファンド	2,074,249円
スマート・ミックス・Dガード (為替ヘッジあり)	5,973,809円
スマート・アロケーション・Dガード	23,929,224円
堅実バランスファンド -ハジメの一歩-	236,205,446円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	5,509,329,948円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	595,238,099円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	309,917,358円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,031,730,013円
ダイワ米國株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米國株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米國株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米國株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト-	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・パリュウ株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり)	104,785,071円
ダイワ6資産バランス・ファンド (Dガード付/為替ヘッジあり)	112,805,921円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米國MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米國MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米國MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	982,368円
DCスマート・アロケーション・Dガード	8,073,994円

ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米國高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米國株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,164円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 3,985,061円</b>
受取利息	2,618
支払利息	△ 3,987,679
<b>(B) 当期損益金(A)</b>	<b>△ 3,985,061</b>
<b>(C) 前期繰越損益金</b>	<b>111,255,021</b>
<b>(D) 解約差損益金</b>	<b>△230,350,932</b>
<b>(E) 追加信託差損益金</b>	<b>361,786,818</b>
<b>(F) 合計(B+C+D+E)</b>	<b>238,705,846</b>
次期繰越損益金(F)	238,705,846

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。